

TOTO

KITCHEN

組立・設置説明書

システムキッチン

レガセスシリーズ

-
- 本書を必ずお読みのうえ、正しく取り付けてください。
 - 取扱説明書・保証書は必ずお客様にお渡しください。
-

1.必ずお守りください	1
2.取付前の確認	3
3.キッチンパネルの取り付け	6
4.ウォール部の取り付け	7
5.天井フィラーの取り付け	10
6.フロアキャビネットの取り付け	12
7.キッチンカウンターの取り付け	18
8.排水金具の取り付け	20
9.エンドパネルの取り付け	21
10.包丁差し	21
11.扉と引き出しの取り付けと調整	22
12.調理機器の取り付け	26
13.安心ロックの注意点	27
14.水栓の取り付け	27
15.照明の取り付け	27
16.周辺商品の取り付け	28
17.オプションの取り付け	28
18.コーキング処理	28
19.清掃・検査・養生	29

1 必ずお守りください

取付前に、この安全上の注意をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
この説明書ではシステムキッチンを安全に正しく取り付けていただき、使用者や他の人々への
危害や財産への損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例	絵表示の意味
	この記号は、してはいけない「禁止」内容です。
	この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

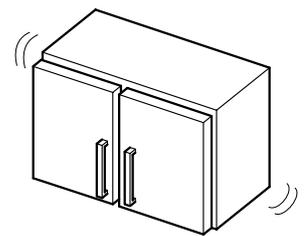
- 取付完了後、試運転および各部の点検を行い異常のないことを確かめてください。
- 本体に付属の取扱説明書はお客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように、各種取扱説明書は必ずシンクキャビネット内にまとめてお引渡しく下さい。

警告

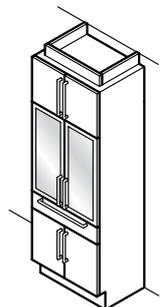
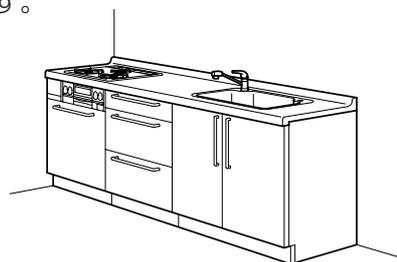
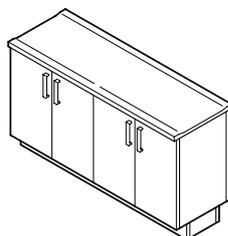
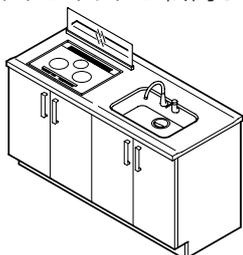
ウォールキャビネットは、建築壁の構造を確かめて確実に取り付ける

取り付けを誤ると、使用中に取付ねじがゆるみウォールキャビネットが落下して、けがをするおそれがあります。

- ※ 下地材は木さん (90mm×30mm) を使用してください。合板を使用する場合は必ず厚みが12mm以上のJAS規格品を使用してください。
- ※ 電動昇降ウォールの場合は必ず木さん (90mm×30mm) を使用してください。



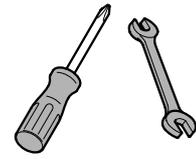
フロアキャビネットは必ず壁面に固定する
対面レイアウト (両面フロアキャビネットなど) は必ず床固定する
トールキャビネット (収納ユニット) は必ず壁面に固定する
キャビネットが転倒してけがをするおそれがあります。



警告

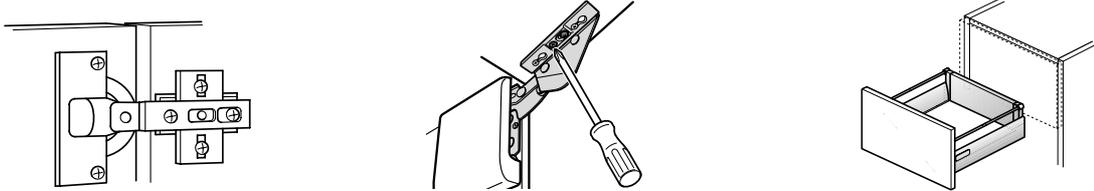
水道・ガス・電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格・指定業者」が行う

火災・感電・水漏れ・ガス漏れの原因となります。



取付完了後は、扉や引き出しの傾き・がたつき・丁番のゆるみがないことを必ず確認する

扉の取り付けに異常があると、使用中に落下してけがをするおそれがあります。



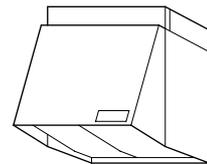
ステンレスカウンターやシンクなどの金属製品を取り扱うときは、必ず保護手袋をする

切断面に触れるとけがをするおそれがあります。



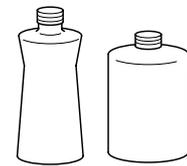
キッチンに組み込まれている水栓・調理機器・フード・その他機器については、それぞれの商品の組立・設置説明書・本体の注意表示を必ず確認し、正しい取り付けを行う

取り付けを誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。



取り付け・仕上げに使われる溶剤・接着剤・洗剤・その他薬品類については、容器などに記載の注意表示に従って正しく使用する

誤った使い方をすると、人体に影響が出たりキッチン部材の損傷や劣化の原因になります。



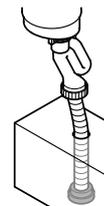
丁番やレールの位置をずらす改造をしない

扉や引き出しが落下し、けがをするおそれがあります。

注意

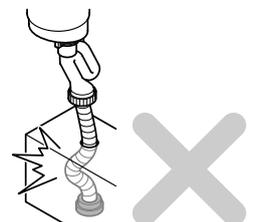
排水管の接続部は、組立・設置説明書に従って必ず接続する

接続部にすき間があると、不快な臭いやカビの発生および水漏れの原因になるおそれがあります。



ジャバラの排水管(付属品)で接続する場合はU字型に曲げたり、折り曲げて取り付けない

排水能力が低下してシンクから水があふれ、床を汚すおそれがあります。



2 取付前の確認

1. 下準備と確認

※別紙施工図を基に木さん・給排水位置および電源・コンセント位置を確認してください。

施工図面を基に、次の事項をしっかりと確認してください。

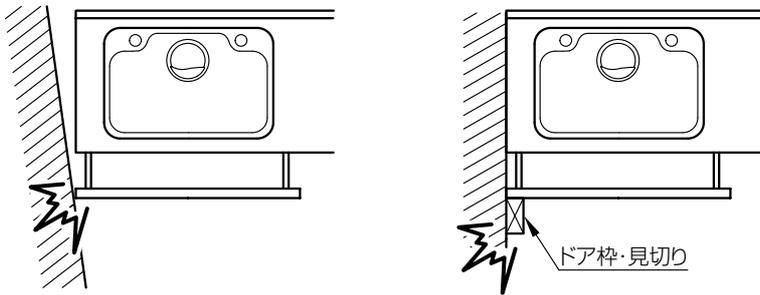
確認によって補充工事が必要なときは、キッチンの取り付けに入る前に工事を依頼してください。

※対面（フラット・ハイ対面）タイプの場合は専用の組立・設置説明書をあわせてご覧ください。

【設置部の確認と注意点】

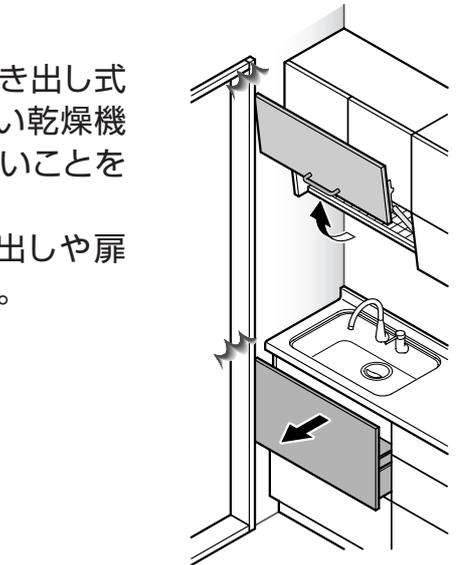
キッチンクロゼットタイプのシンクキャビネットなどの引き出し式キャビネットやはね上げ式の扉付きキャビネット・食器洗い乾燥機の場合、ドア枠などの突起物に引き出しや扉が干渉しないことを確認してください。

また、側面に接する壁の直角が出ていない場合に引き出しや扉が壁面に干渉することがありますので注意してください。

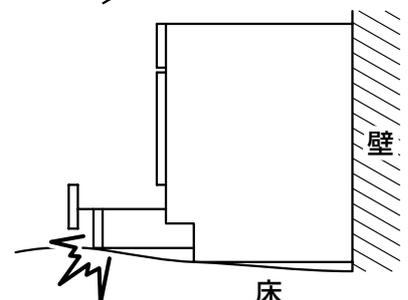


干渉する場合は、壁から離して取り付けください。

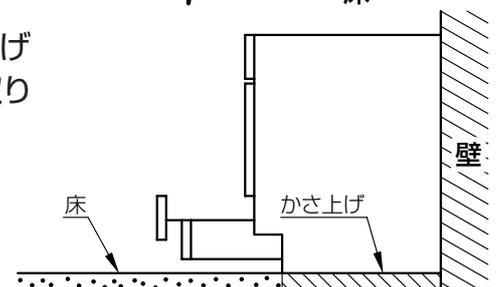
この場合、すき間にはシリコンシール剤を充填してください。



キッチンクロゼット（引き出し）が床に近い位置にあるため、キッチンクロゼットタイプのキャビネットを設置する際は床の不陸に十分注意してください。この時キッチンクロゼットをいっぱい引き出して確認してください。



キッチンクロゼットタイプのキャビネット設置後に床仕上げを行う場合、床材の厚み分キャビネットをかさ上げして取り付けください。



1. 下準備と確認 (続き) ※別紙施工図を基に木さん・給排水位置および電源・コンセント位置を確認してください。

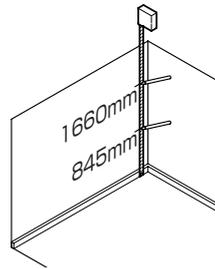
床・壁面・天井の直角と水平・垂直を確認してください。

- 水平・垂直基準の精度が出ていないと、最終仕上がりが悪くなり安全性にも影響します。正確に基準線を設定してください。

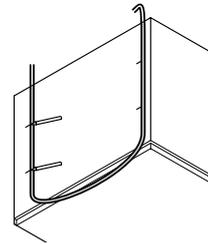
① 水平基準線の設定

水盛り管・水準器などを用いて、各壁面にウォールキャビネットの下端面、フロアキャビネットの上面の基準点を2~3カ所取り、各基準点間に墨壺を用いて水平基準線を引いてください。

※床の一番高い所を基準としてください。



レイアウト図を参考に床面からキャビネットの下端の基準寸法を出す。

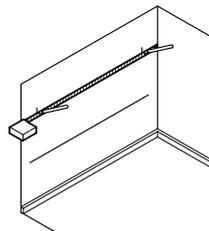


水盛り管・水準器を用いて基準点を出す。

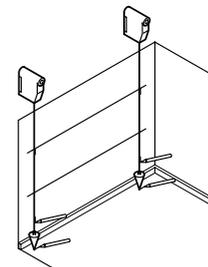
※上記基準寸法はカウンター高さ860およびミドルウォールの場合。

② 垂直基準線の設定

下げ振りを用いて壁面の角部と、取り付けキャビネット左右端の上下に基準点を取り、基準点間に墨壺を用いて水平基準線を引いてください。

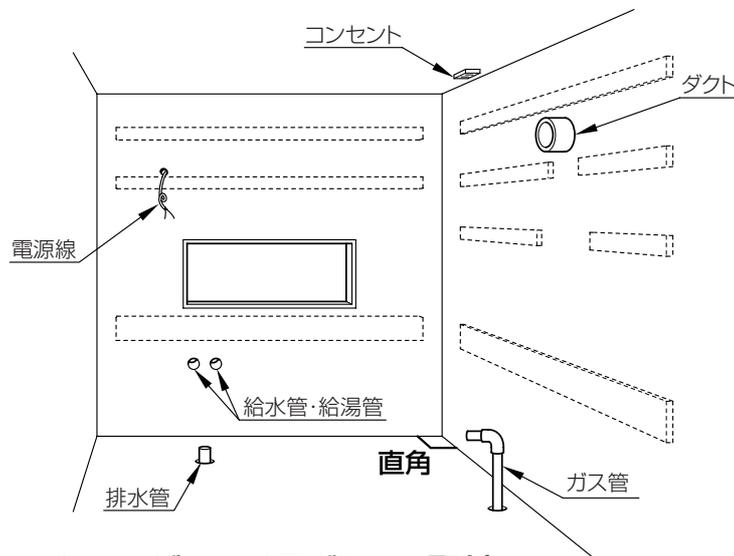


レイアウト図を参考に角部からキャビネットの左右の基準寸法を出す。



下げ振りを用いて壁・床面への基準点を出す。

- 施工図通りに下地・木さん・給水／排水管・コンセント・電源線・ダクトなどがあるか確認してください。

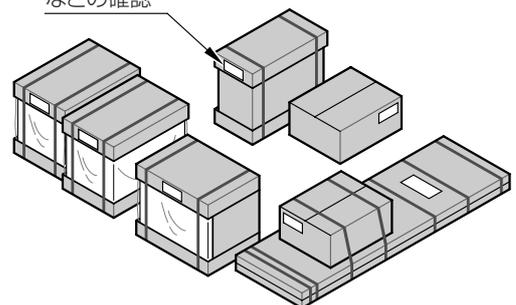


- 調理機器・レンジフード・レンジフード用ダクトは取付面の不燃指定や不燃物との離隔距離が火災予防条例で定められています。

※詳しくは所轄の消防署での確認となります。

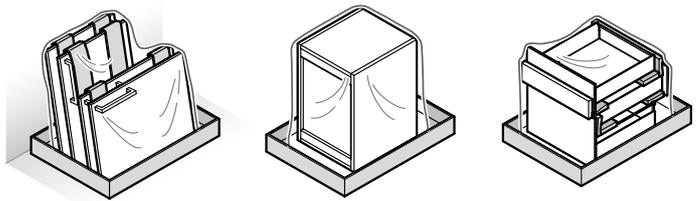
- 荷受した商品は送り状を元に品番・数量をチェックしてください。
- 開封前は包装材など外観に破損がないか確認してください。
- 開封後は商品に傷・破損がないか確認してください。

商品名・機種などの確認

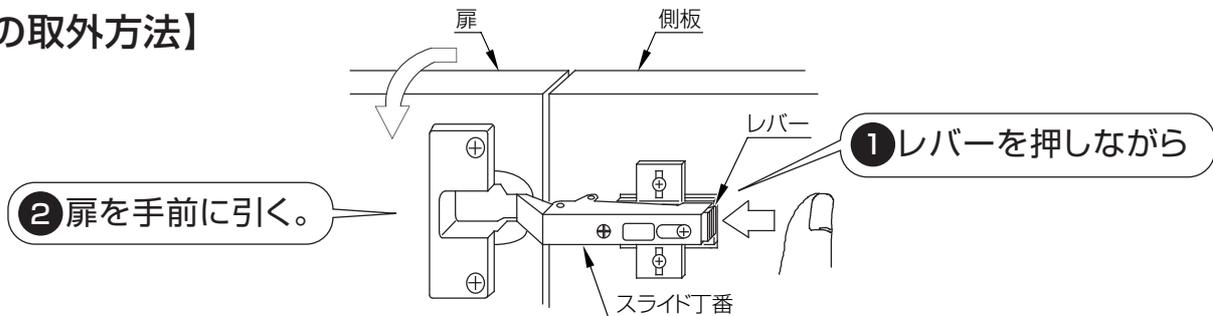


2.扉・引き出しの取り外し

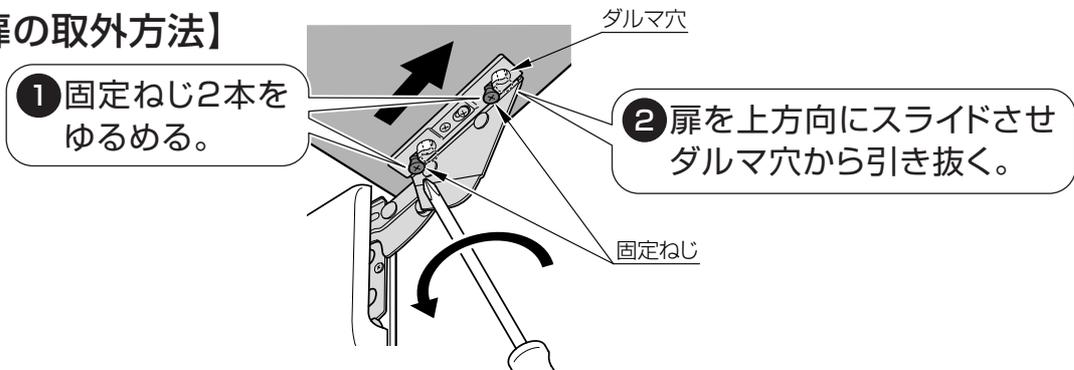
扉および引き出しを傷つけないように、開梱後すぐに取り外し、次ページ(P.6)【扉・引き出し・キャビネットの養生方法】の要領で1カ所にまとめて保管してください。



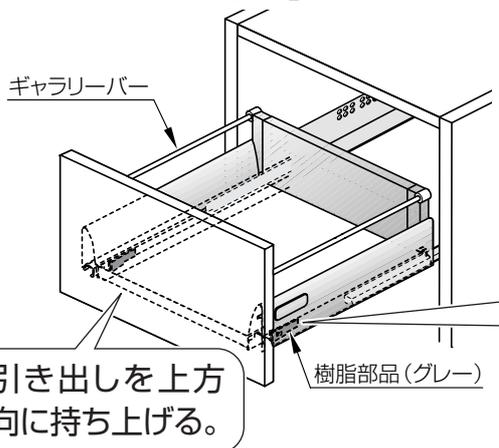
【扉の取外方法】



【はね上げ式扉の取外方法】



【引き出しの取外方法】



⚠ 注意

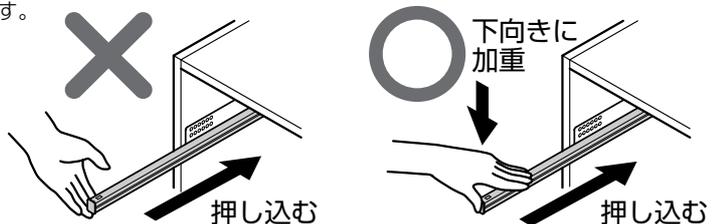
❌ ギャラリーバー部分を持たない
 ギャラリーバーが外れて引き出しが落下しけがをするおそれがあります。

① 引き出し底板の両端にある樹脂部品(グレー)を内側に押し込みながら

※無理に外すと作動不良や破損のおそれがあります。

お願い

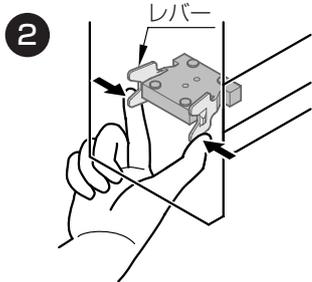
引き出しを取り外した後にレールを収める時は、レールの先を下向きに加重しながら押し込んでください。そのまま押し込むと、作動不良や破損の原因となります。



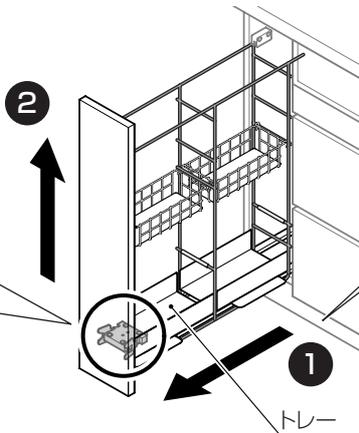
2.扉・引き出しの取り外し (続き)

【スパイスボトルラックの取外方法】

レバーを内側に押し込みながら、引き出しを上方向へ持ち上げる。



内側のトレーを外し、上面からレバーを操作することもできます。



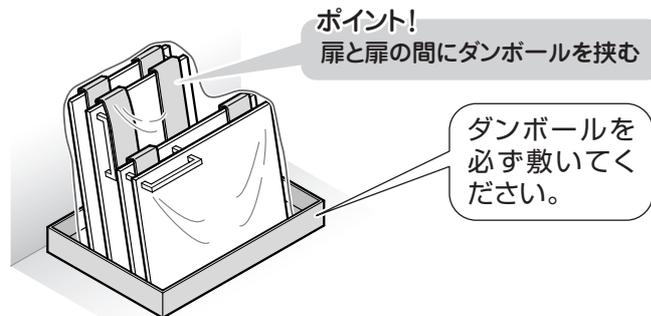
① 引き出しを完全に引き出す。

※無理に外すと作動不良や破損のおそれがあります。

【扉・引き出し・キャビネットの養生方法】

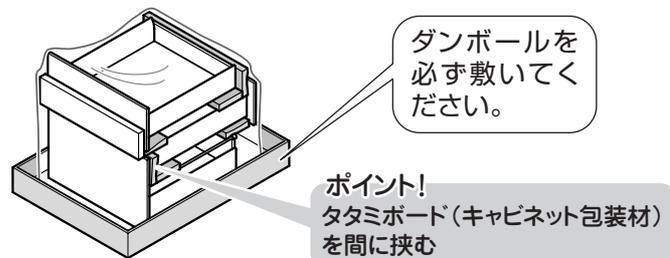
〈扉の場合〉

立掛けて保管するときは、必ず取っ手を上にしてください。



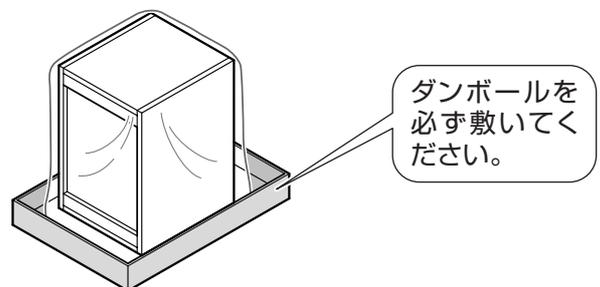
〈引き出しの場合〉

積み重ねて保管するときは、互い違いにしてください。



〈キャビネットの場合〉

ウォールキャビネットの底面を床に直接置かないでください。



3 キッチンパネルの取り付け

キッチンパネルがある場合は、キャビネットの取付前にキッチンパネルを取り付けてください。取付方法はキッチンパネル用接着キットに付属の組立・設置説明書を参考にしてください。

4 ウォール部の取り付け

1.フードの取り付け

⚠ 注意

❗ 機器に付属の組立・設置説明書および本体の注意表示を必ず確認し、正しい取り付けを行う
取付方法を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

2.ウォールキャビネットの取り付け

〈ウォールキャビネットの場合〉

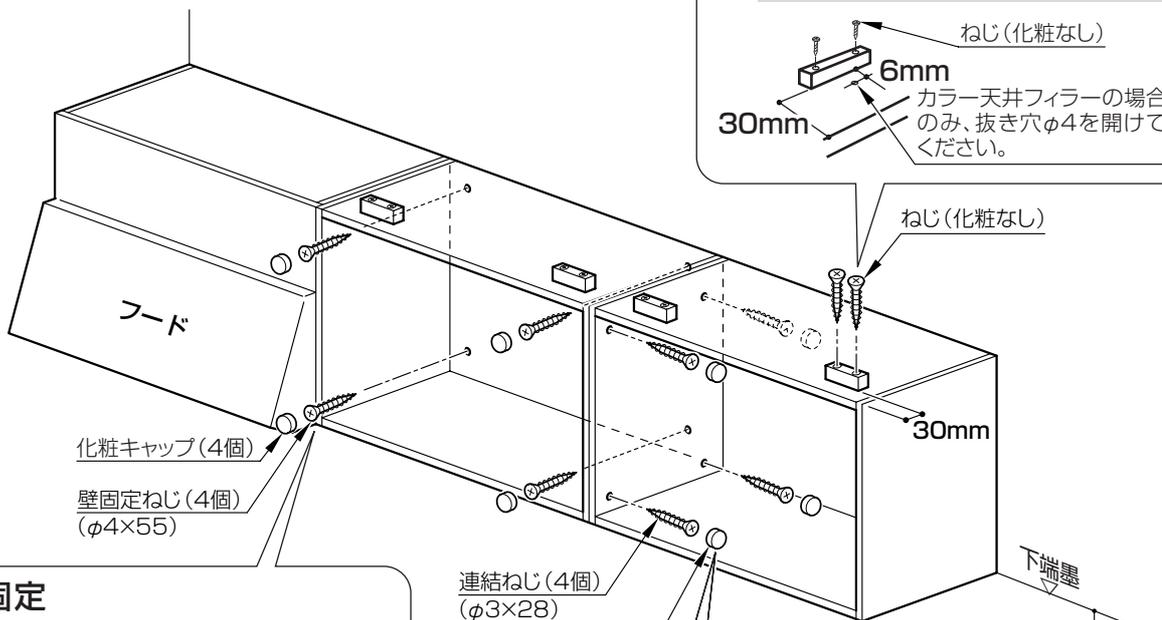
キャビネット下端墨に合わせて、次の要領にて取り付けてください。

〈安心ロック付きキャビネット〉

付属の組立・設置説明書を参考にして取り付けてください。

1 天井フィラー受け材の取り付け (受け材および取付ねじは天井 フィラーに付属)

※キャビネット壁固定前に取り付けてください。

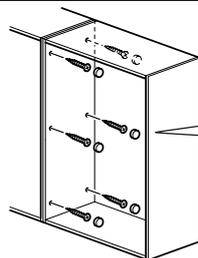


2 壁固定

後横さんの下穴に合わせて裏板に下穴を開けてから壁固定する。

3 連結

隣接するキャビネットの底面、前面を合わせ、連結する。



背の高いキャビネットの連結は上・中・下の3カ所を固定する。

1660mm
カウンター高さ860mm
(カウンドルウォール時)

スリムライトなどの照明を底面に付ける場合は、切り欠きを設けてください。

照明内蔵タイプ



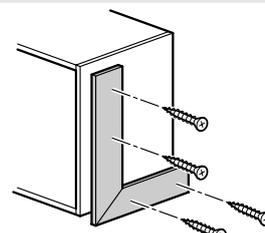
配線用の穴加工をする。

標準タイプ・不燃タイプ



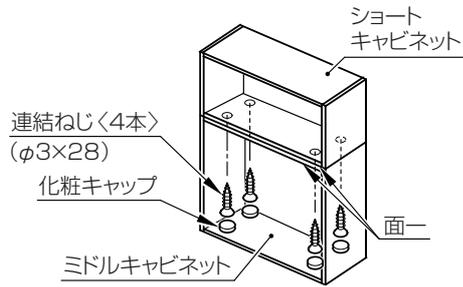
切り欠きを設ける。

エンドスペーサーがある場合は必ずキャビネット取付前に取り付けてください。

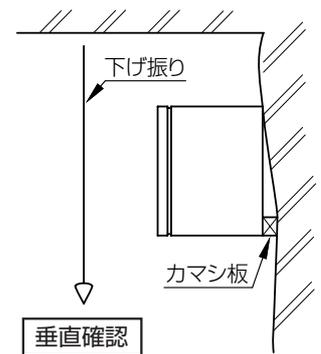


2.ウォールキャビネットの取り付け (続き)

上下のキャビネットの連結



ウォールキャビネットを取り付ける壁面に凹凸がある場合は扉に段違いが生じますので、下図のように下げ振りなどで垂直確認を行い、カマシ板 (現場調達) などで調整を行ってください。



3.ウォールキャビネットの取り付け [L型・A型レイアウトの場合]

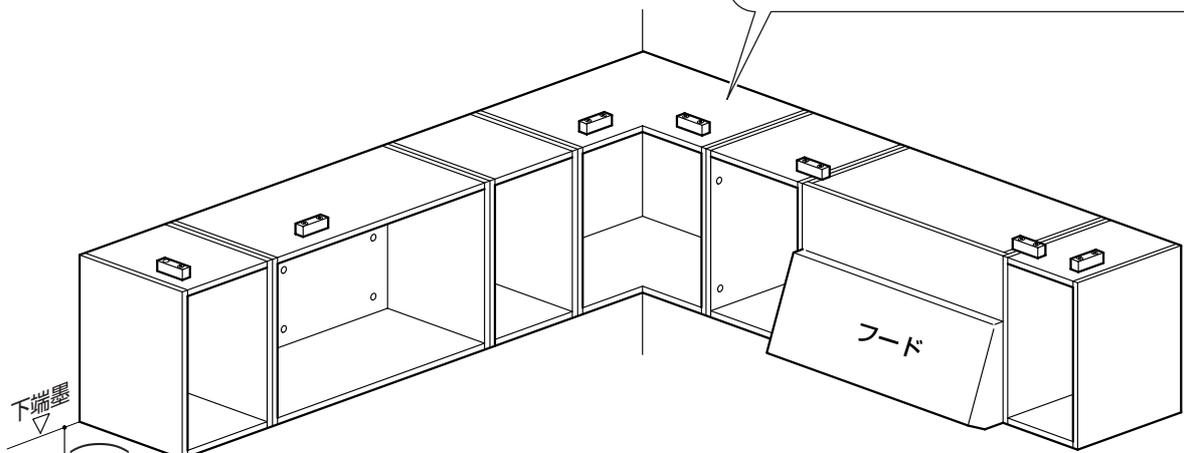
〈L型レイアウトの場合〉

コーナー部より取り付けてください。

〈A型レイアウトの場合〉

コーナー部より取り付けてください。
コーナーウィングキャビネットの取り付けに関しては付属の組立・設置説明書を参照してください。

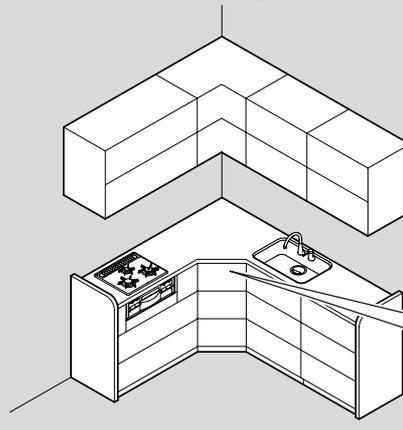
L型・A型レイアウトの場合はコーナー部より取り付ける。



1660mm
(カウンター高さ860mm時)
(ミドルウォール時)

※A型レイアウトとは

TOTOが新しくご提案するキッチンのレイアウトです。

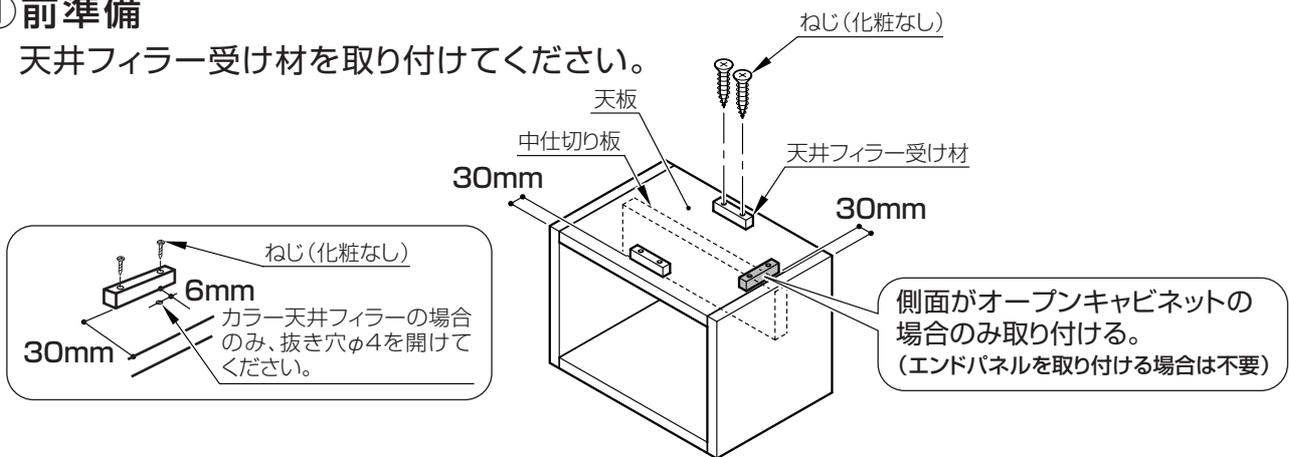


キャビネットやカウンターのコーナーの部分が斜めになっています。

4.天吊りキャビネットの取り付け

①前準備

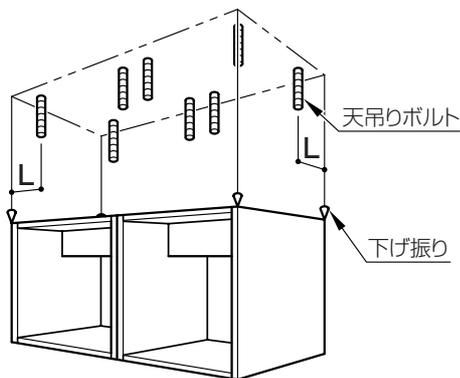
天井フィラー受け材を取り付けてください。



②天吊りキャビネットの位置決め

下げ振りでキャビネットの位置を決めてください。

キャビネットの前後左右からのボルト位置(L)を測定してください。



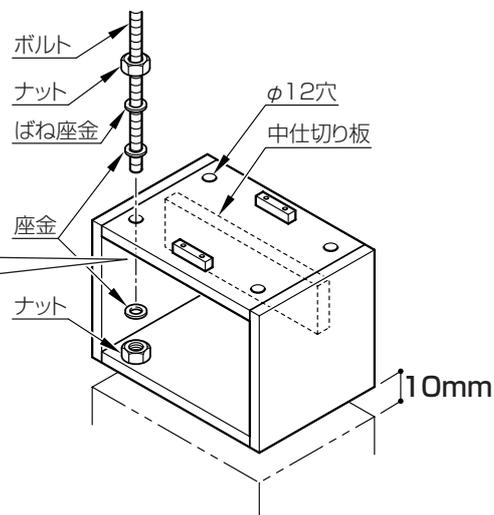
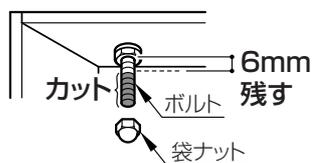
③天吊り仕様キャビネットの取り付け

②で測定したボルト位置(L)寸法に合わせた天吊りボルト用の穴をあけてください。それぞれのキャビネットを下図のように吊ってください。

※標準取付高さより約10mm程度高めに吊っておくと中間のキャビネットの取り付けが簡単です。また、袋ナットは取付後に取り付けてください。

※キャビネットの上下の方向性に注意してください。
(レイアウト図参照)

吊りボルトをカットして袋ナットを取り付ける。



5 天井フィラーの取り付け

1. カットと取り付け

カット面がオープンになる場合は、縁貼材を貼る。
(ゴム系接着剤)

天井フィラー
カットした面を下にしてください。

天井とキャビネットのすき間 (H寸法) を測り、天井フィラーをH寸法に合わせてカットする。

皿木ねじ (化粧あり)
($\phi 3.1 \times 32$)

メタリックグレーの天井フィラーの場合、前面から受け材に固定する。

カラー天井フィラーの場合、天井フィラーを受け材に押し付け下側から固定する。

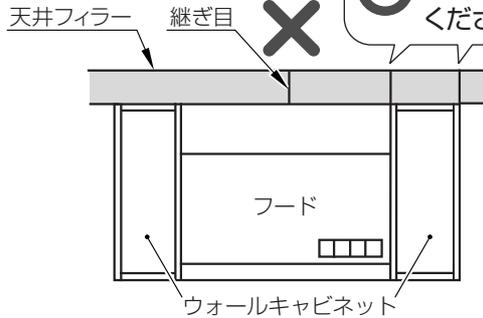
受け材

H

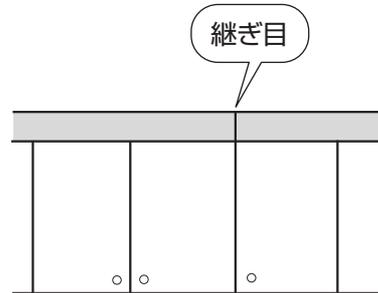
連結ねじ
($\phi 3 \times 28$)

キャップ

※フードには、天井フィラー受木が取り付けられないため、天井フィラーの継ぎ目がフードの上に来ないようにしてください。



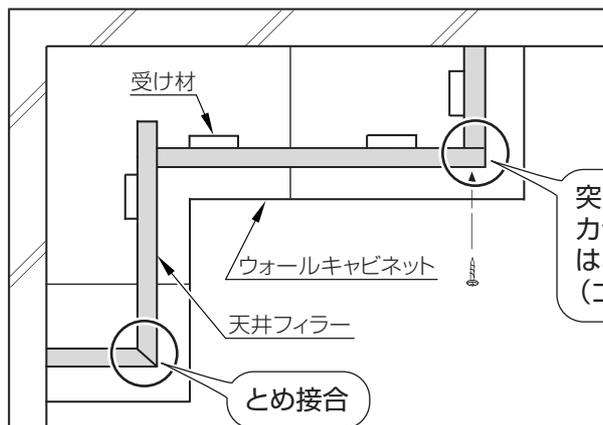
どちらかに継ぎ目が来るようにしてください。



※天井フィラーの継ぎ目はウォールの扉に合わせると、きれいに仕上がります。

2. コーナー部および端面部の処理

端面部は下図の突き合わせ接合または、とめ接合で仕上げてください。



突き合わせ接合
カット面がオープンになる場合は、縁貼材を貼る。
(ゴム系接着剤)

とめ接合

3.フードのみ(ウォールキャビネットなし)の場合

①角材の取り付け

天井面に角材(垂木材、現場調達)を取り付けてください。

※野縁にねじ止め。

必ずフードの取付前に取り付けが必要です。

②天井フィラーの取り付け

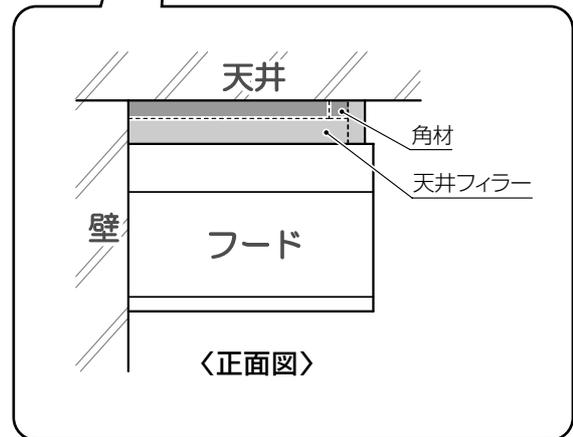
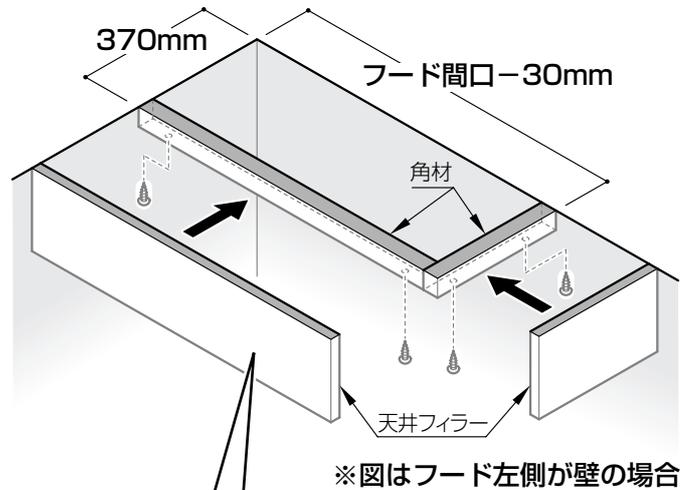
天井フィラーを両面テープと接着剤(現場調達)で取り付けてください。

※キッチンパネル用の両面テープと接着剤でも可能です。

⚠ 注意



天井面への角材取り付けおよび角材への天井フィラー取り付けは確実に取り付ける
確実な取り付けを誤ると天井フィラーが落下してけがをするおそれがあります。

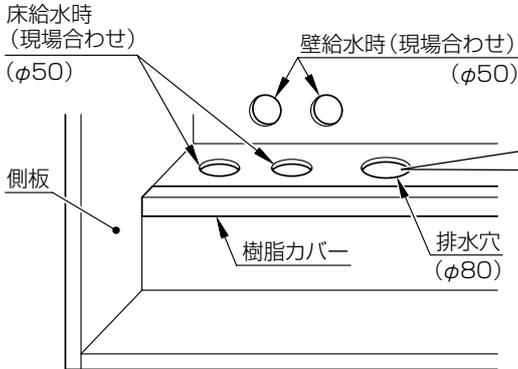


6 フロアキャビネットの取り付け

1. 配管用穴あけおよび側板切り欠き

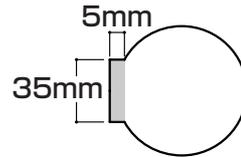
① 穴加工

位置は現物合わせをして決めてください。
 〈配管スペース付きシンク用キャビネットの場合〉

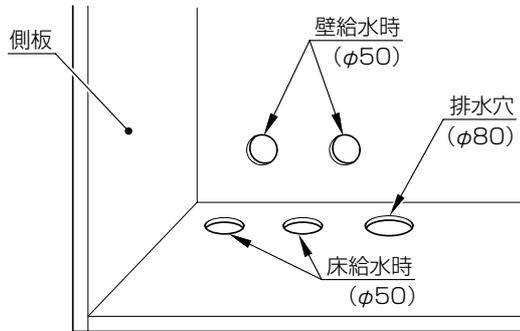


ビルトインイオン水生成器設置で直管の場合

※シーリングプレートでかくれるように切り欠いてください。

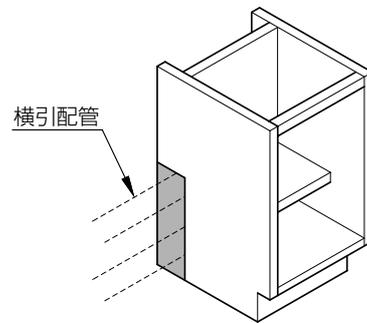


〈配管スペースなしシンク用キャビネットの場合〉



② 側板の切り欠き

横引配管の場合は、配管が通るキャビネットの側板を切り欠いてください。



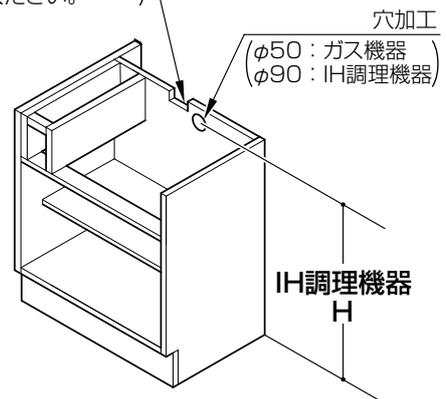
③ 配管用穴加工

コンロ用キャビネットにガス配管用・電気配線の穴加工をしてください。

(I型スリム (D600) 用・A型レイアウト用キャビネットの穴加工についてはキャビネット付属の組立・設置説明書を参照してください。)

IH調理機器の場合切欠加工が必要となります。

(機器付属の説明書を参照ください。)



※ガス配管については、施工図および現物を確認して穴加工をしてください。

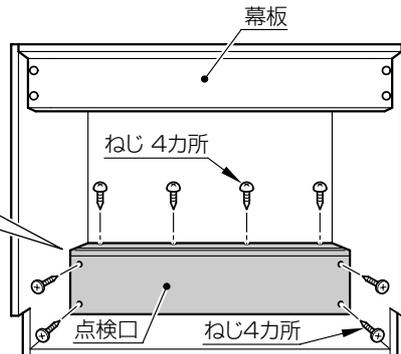
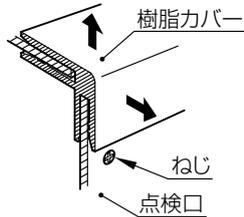
〈IH調理機器の穴加工位置〉

	H寸法
カウンター高さ 810	500mm
カウンター高さ 860	550mm
カウンター高さ 910	600mm

2. 点検口類の取り外し 図の要領で飾板、点検口を取り外してください。

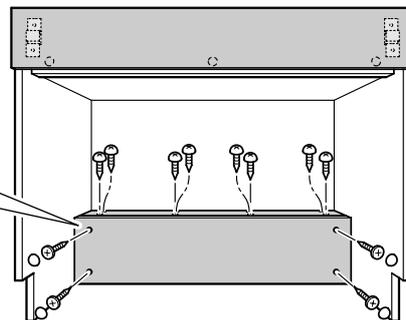
【引き出しタイプ、開き扉（配管スペースあり）タイプの場合】

ねじと樹脂カバーを外し、
点検口の着脱を行う。



【ニースペースタイプの場合】

ねじを外し点検口を
取り外す。

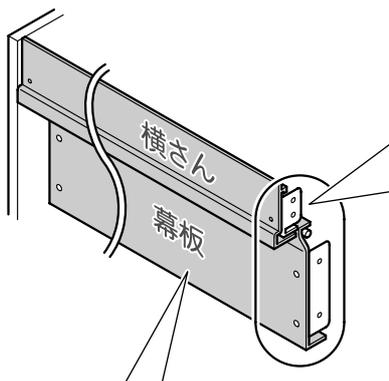


3. シンクキャビネット幕板の取り外し

※通常取り付けの際は、幕板を外す必要はありません。

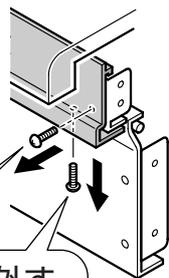
カウンターを納める際に壁の不陸などで納めにくい場合は事前に取り外してください。

【標準タイプの場合】

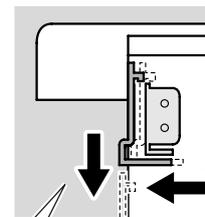


① 横さんの取り外し

① ねじを外す。



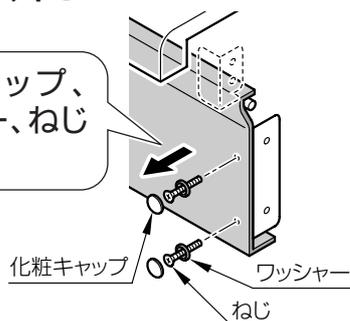
② 横さんを手前に引っ張る。



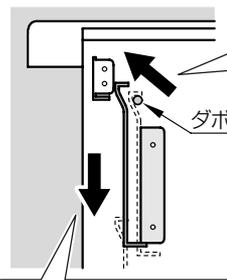
③ 横さんを下に引っ張り、取り外す。

② 幕板の取り外し

① 化粧キャップ、
ワッシャー、ねじ
を外す。



② 幕板を斜め上に持ち
上げ、ダボから外す。

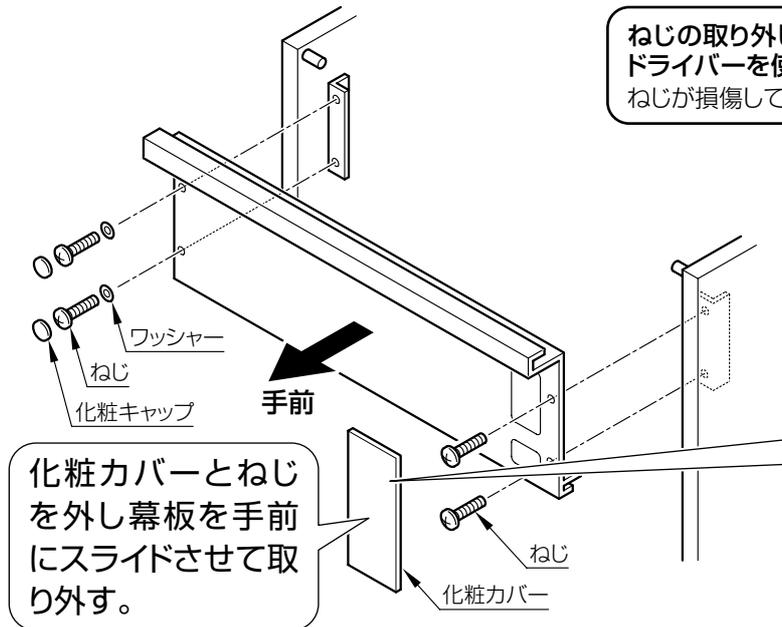


③ 幕板を下に引っ張り、取り外す。

3.シンクキャビネット幕板の取り外し(続き)

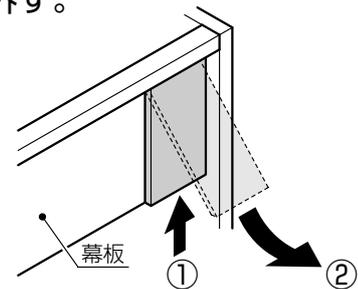
【アルカリスリム用幕板の場合】

ねじの取り外し・取り付けは電動工具を使用しないでハンドドライバーを使用して必ず手回しで行う。
ねじが損傷して幕板が取り付けできなくなります。



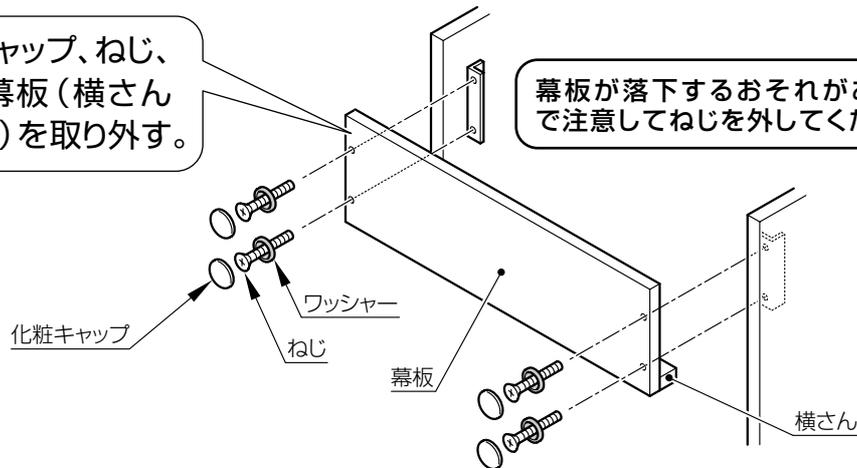
化粧カバーとねじを外し幕板を手前にスライドさせて取り外す。

化粧カバー(左右2カ所)は①の箇所を指で押し上げて②の方向へ外す。



【幕板が木製の場合】

左右4カ所の化粧キャップ、ねじ、ワッシャーを外し、幕板(横さんが固定されています)を取り外す。

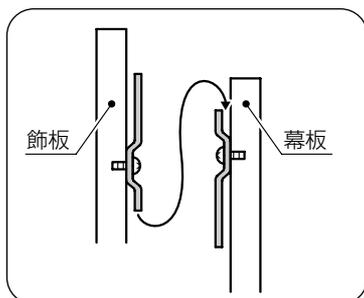


幕板が落下するおそれがありますので注意してねじを外してください。

【オープンタイプの場合】

① 飾板の取り外し

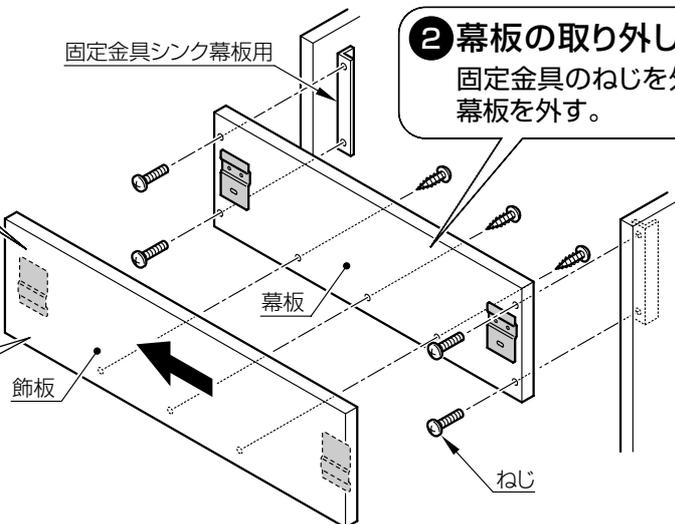
幕板裏側から飾板を固定するねじ(3カ所)を外し、飾板を左右にずらして飾板を外す。



固定金具シンク幕板用

② 幕板の取り外し

固定金具のねじを外し、幕板を外す。



4. フロアキャビネットの取り付け

〈L型レイアウトの場合〉

コーナーキャビネットから取り付けます。

〈A型レイアウトの場合〉

コーナーキャビネットから取り付けます。

A型コーナーキャビネット付属の組立・設置説明書を参照ください。

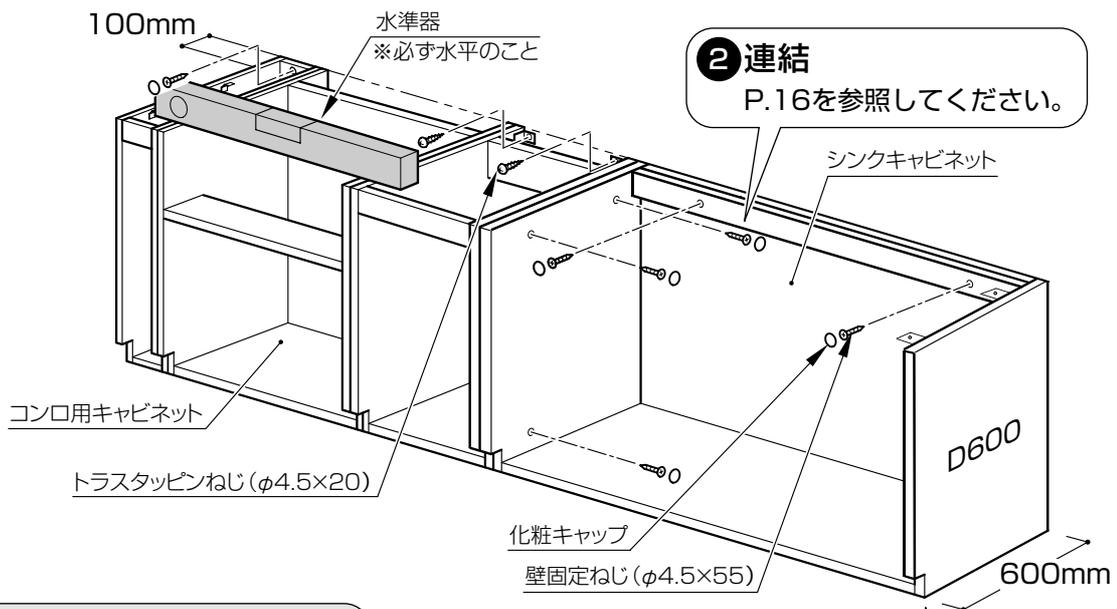
〈コンロ用キャビネットの取り付け方法〉

コンロ用キャビネットに付属の組立・設置説明書を参照してください。

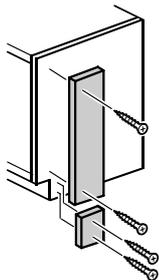
〈スペーサー付きキャビネットや、エンドスペーサーを使用する場合〉

キャビネットを設置する前に取り付けてください。

(取り付け方法はキャビネットまたはエンドスペーサーに付属の組立・設置説明書を参照してください。)

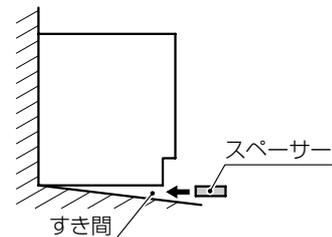


エンドスペーサーは必ずキャビネット
取付前に取り付けてください。

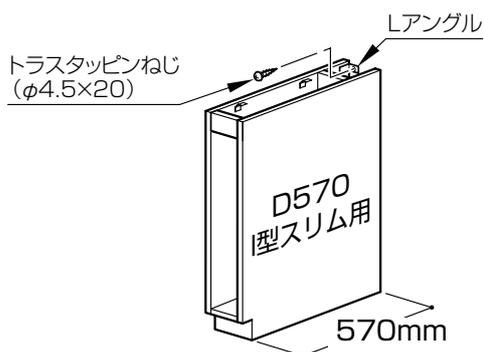


1 水平出し

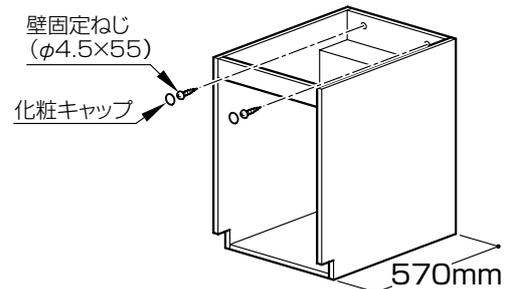
床の水平が出ていない場合は床とフロア
キャビネットの間に不陸調整用スペーサー
を入れてレベル調整する。



【1型スリム用 スパイスボトルラックの場合】



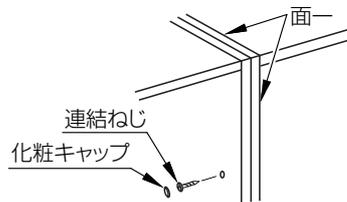
【1型スリム用 3段引き出しの場合】



4.フロアキャビネットの取り付け (続き)

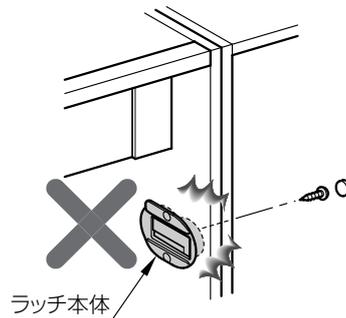
② キャビネット同士の連結

キャビネット前面および上面を合わせ、キャビネットに付属している連結ねじ (φ3×28、3本) で連結してください。



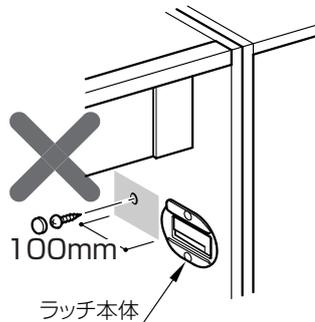
安心ロック付き引き出しフロアキャビネットは連結位置にラッチ本体が付いていないことを必ず確認してください。

ラッチ本体とねじが干渉して破損するおそれがあります。



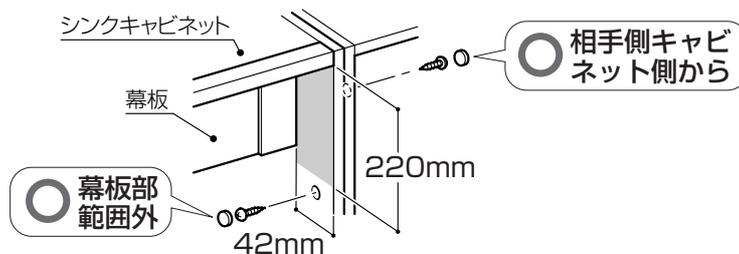
安心ロック付き引き出しフロアキャビネットを連結する場合は ■ 部範囲以外の場所で固定してください。

引き出し側ラッチ受けとねじが干渉して破損または引き出しが閉まらなくなるおそれがあります。



シンクキャビネットにアルカリスリムビルトインを取り付ける場合、幕板付近 (■ 部) にはシンクキャビネット側から連結しないでください。取り付けできなくなります。

連結する場合は相手側のキャビネット側から固定するもしくは ■ 部範囲以外の場所で固定してください。



※床とキャビネットのすき間がある場合は、天井フィラーを現場加工して取り付けてください。
(キッチンクロゼットがない場合のみ)

4. フロアキャビネットの取り付け (続き)

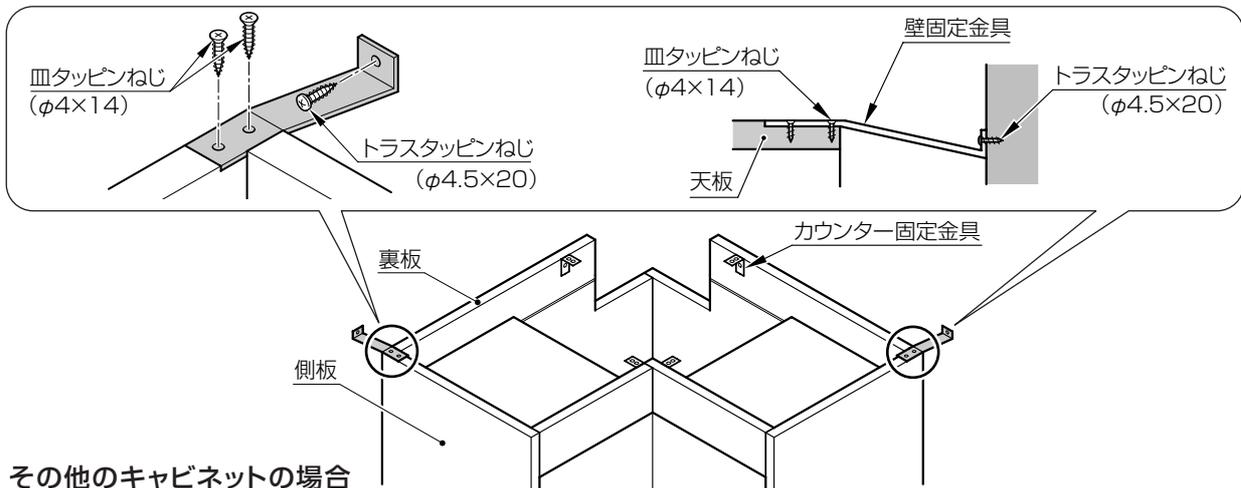
③ 壁固定

シンクキャビネットの場合

横さんのある部分の裏板側から下穴を開け、壁固定ねじ(φ4.5×55)で固定してください。

L型コーナーキャビネットの場合

下図のように、側板に壁固定金具を取り付ける。この時、側板と金具の上面が面一になるよう現物合わせで切り欠いてください。取り付けねじは下図の通りです。



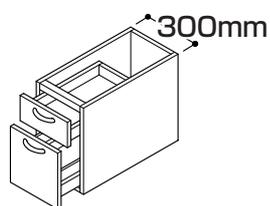
その他のキャビネットの場合

側板に取り付けられたアングルをトラストタッピンねじ(φ4.5×20)で壁固定してください。

大容量タイプの食器洗い乾燥機用キャビネットの場合

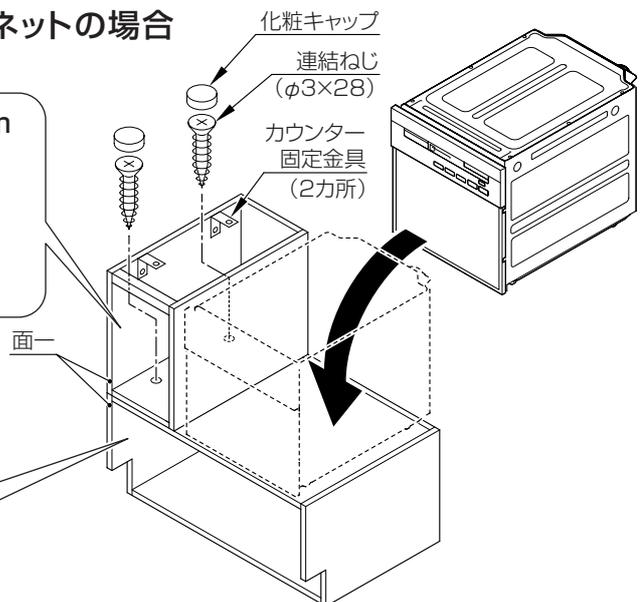
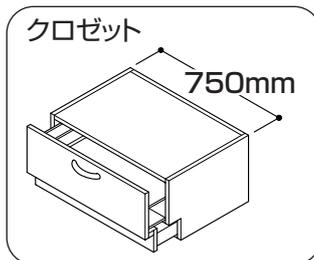
2段引き出し

※取付位置は、レイアウト図をご確認ください。



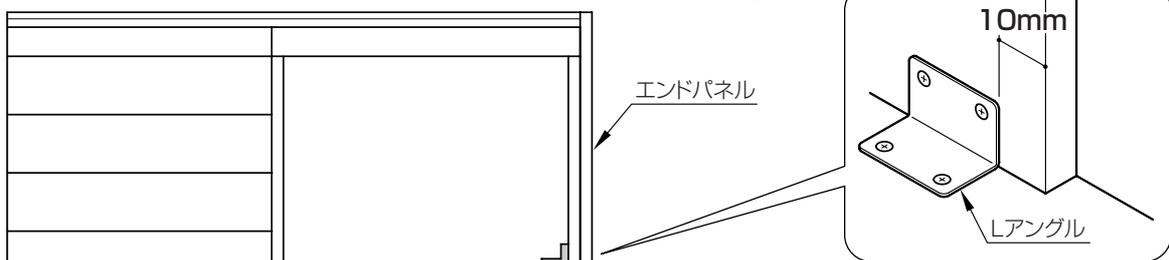
クロゼット

750mm



オープンキャビネットが端にくる場合

オープンキャビネット側の側面固定ができない場合はキャビネット付属のLアングルで床固定をしてください。(床暖房設備がある場合はエポキシ接着剤などで貼り付けてください。)



7 キッチンカウンターの取り付け

1. キッチンカウンターの固定

※クリスタルカウンターの場合は次ページを参考にしてください。

※A型カウンターの取り付けは、A型コーナー用フロアキャビネット付属の組立・設置説明書をご確認ください。

- ①キッチンカウンターをフロアキャビネットにのせ、取付位置を確認後、フロアキャビネットの内側からトラスタッピンねじ(φ4×10)で固定してください。

指定以上の長いねじを使用するとカウンターに傷、ひび割れが生じます。

バックガードプレート
(人工大理石の場合のみ)

端面がオープンですき間が目立つ場合はアングルを内側に付け替えて引きつけて固定する。

ビルトイン機器がレイアウトされた場合、カウンター取付後にビルトイン機器を取り付ける。

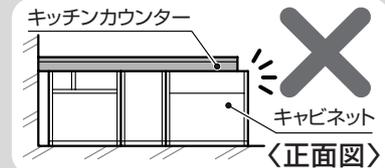
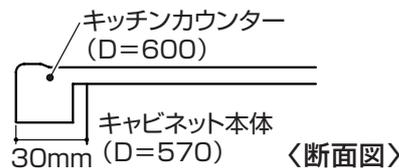
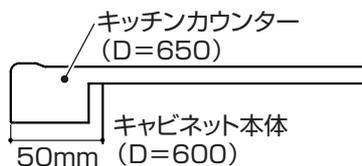
シンクキャビネットとカウンターの固定はシンクキャビネットがレイアウト端に取り付けられる場合にその端側のみ行う。それ以外の場合は、カウンターとの固定は不要。

トラスタッピンねじ
(φ4×10)

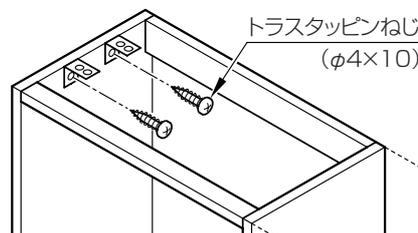
- ②カウンター固定は各キャビネットの両側板に取り付けられているアングルを使用します。(W450、W600食器洗い乾燥機用キャビネットは、付属のアングルをキャビネット側板に取り付けてください。)

※キッチンカウンターとキャビネット本体の位置関係は下図を参考にしてください。

※キャビネットがキッチンカウンターより飛び出さないこと。



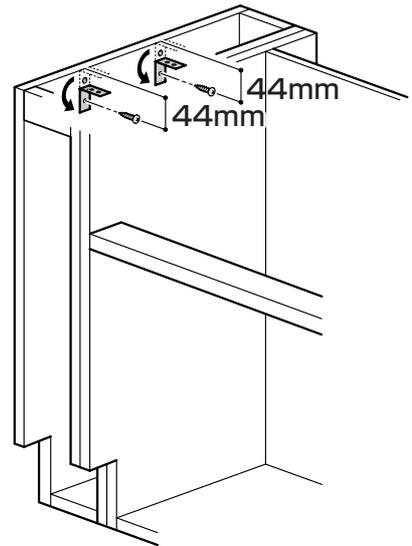
W450、W600食器洗い乾燥機用キャビネットがカウンター端に来る場合はアングルを端側に取り付けてください。



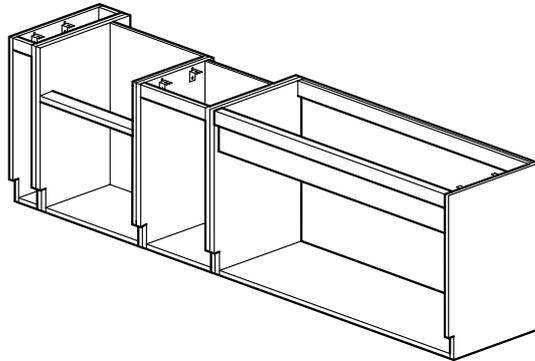
2. クリスタルカウンターの固定

- ① キャビネット側板の上部にあるアングルを、アングルの下にある穴に付け替えてください。

クリスタルカウンター裏面に直接ねじ止めしないでください。
割れおよび塗装のはがれの原因となります。

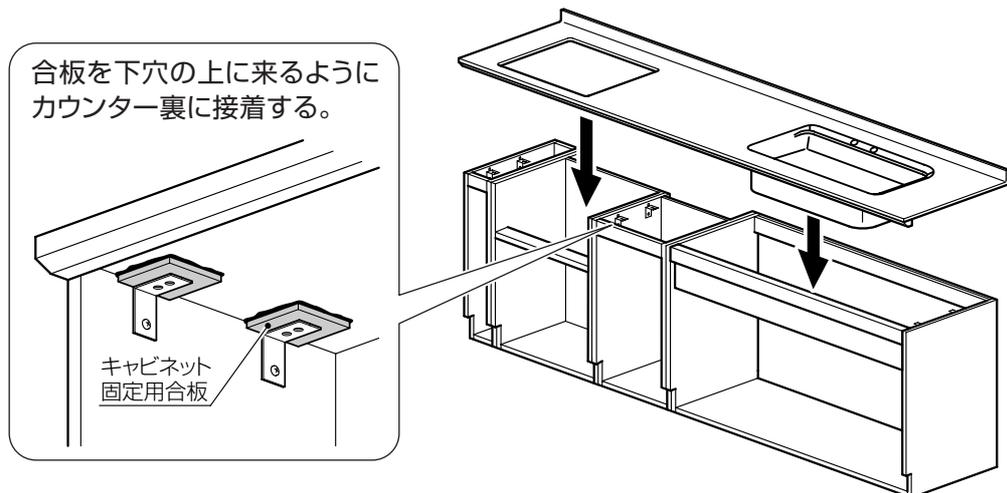


キャビネットをレイアウトとおりに並べて取り付けてください。



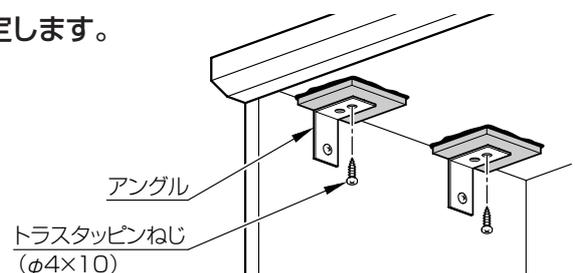
- ③ カウンターをキャビネットの上に乗せ、位置を確定したあと、カウンターに付属のキャビネット固定用合板をカウンター裏の①で付け替えたアングルの位置に合わせて接着してください。
(接着方法はカウンターに付属の組立・設置説明書をご確認ください。)

合板を下穴の上に来るように
カウンター裏に接着する。



キャビネット
固定用合板

- ④ ①で取り付けしたアングルと③で接着した合板とを固定します。
トラスタッピンねじ (φ4×10) で固定します。



3.L型・A型コーナーレイアウトの場合のコーナー継ぎ

※コーナーウイングキャビネットを取り付ける場合、コーナー継ぎを先に行ってください。
コーナーウイングキャビネットは、キャビネットに付属の組立・設置説明書に従い取り付けてください。

①カウンターのコーナー継ぎ

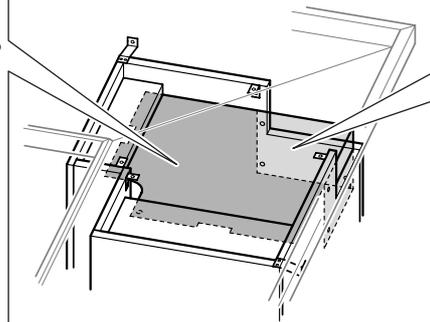
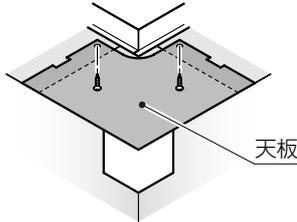
カウンターに付属の組立・設置説明書に従って取り付けてください。

②天板とカバーの取り付け

コーナーキャビネット付属の組立・設置説明書を参照し天板を取り付けください。キャビネット裏板の切り欠き部分に内側よりカバーを取り付けください。

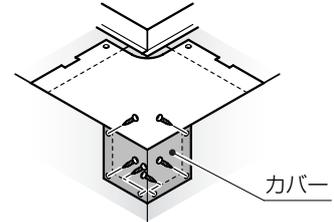
①天板をトラスタッピンねじ (φ3.5×14) で固定する。(2カ所)

コーナーキャビネット内部



②カバーをトラスタッピンねじ (φ3.5×14) で固定する。(6カ所)

コーナーキャビネット内部

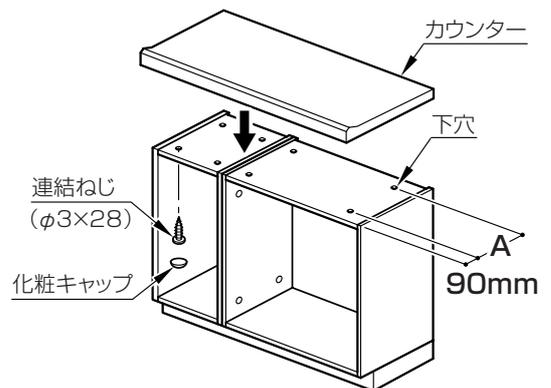


4.スクリーンの取り付け

スクリーンを取り付ける場合、カウンター付属のスクリーンに付属の組立・設置説明書に従い、取り付けてください。

5.周辺カウンター設置の場合

キャビネット天板から連結ねじで固定してください。
(キャビネット天板に下穴がない場合は、カウンターの木さん位置に合わせて天板に下穴をあけてから行ってください。)



	A寸法
奥行450 カウンター用	220mm

8 排水金具の取り付け

排水金具に付属の組立・設置説明書に従って取り付けてください。

⚠ 注意



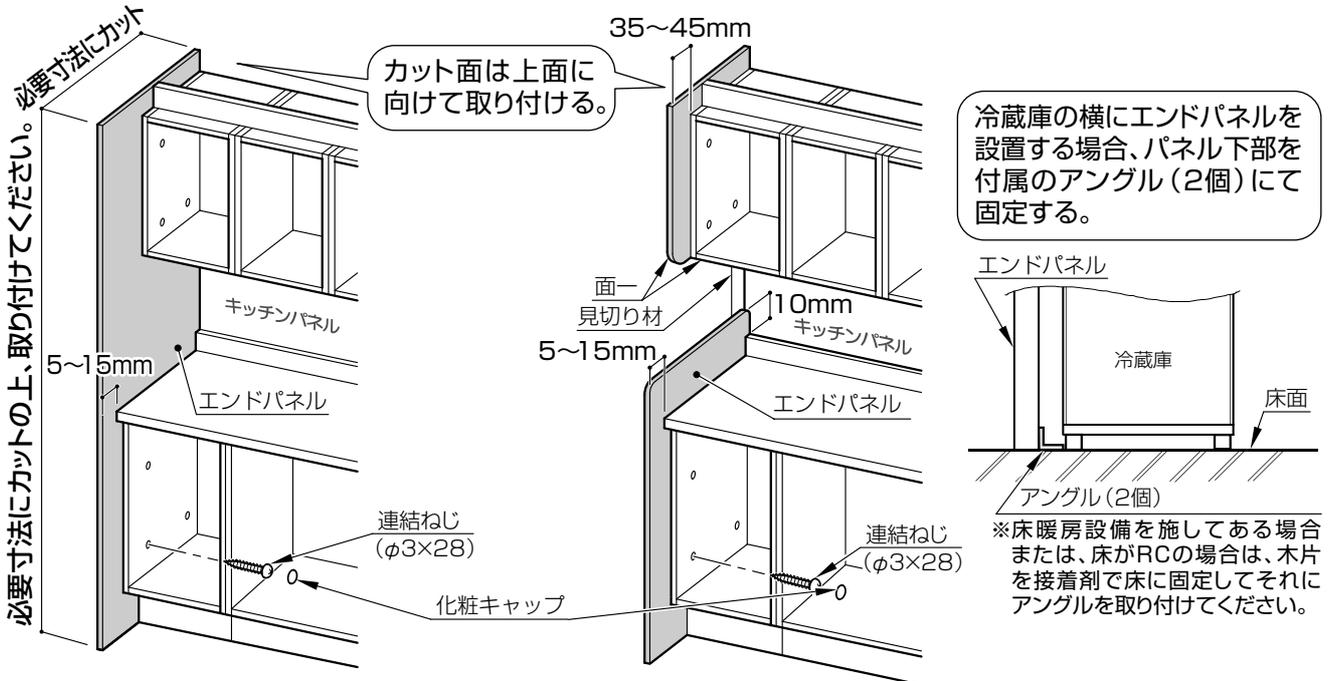
排水金具に付属の組立・設置説明書の注意事項を必ず確認し、正しい取り付けを行う
取付方法を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

9 エンドパネルの取り付け

- ① 下図取り合いに合わせ、エンドパネルをカットしてください。
- ② 取り付けはキャビネット内側より連結ねじで止めてください。シンクキャビネットの場合は幕板部で固定しないでください。(P.16ページ「**●**キャビネット同士の連結」を参照してください。)
- ③ エンドパネルとカウンターや壁面とのすき間をシリコンシーラ剤でコーキングしてください。(「18.コーキング処理」参照)

〈トールタイプの場合〉

〈セパレートタイプの場合〉



キッチンパネルと見切り材の取り合いはキッチンパネル用接着キットに付属の組立・設置説明書に従って取り付けてください。

10 包丁差し

引き出しオールスライドタイプのシンクキャビネットに付属の包丁差しは取り外して左右を変えることができます。また、包丁差しの底板も外してお手入れすることができます。

※通常の作業では取り外す必要はありません。

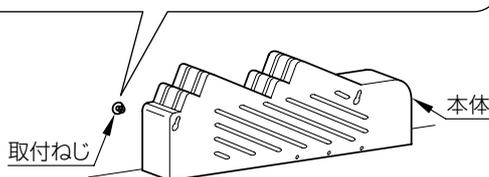
【本体の取外方法】

本体を斜め上方にスライドして取り外す。

【向きを変える場合】

包丁差しを裏返して取り付けます。

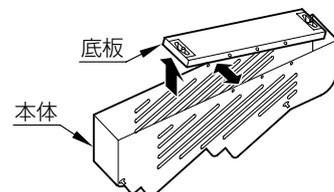
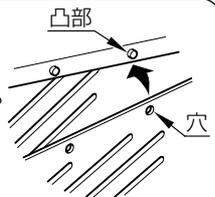
斜め上方にスライドさせる



【底板の取外方法】

本体を軽く左右に広げながら、底板の6カ所の凸部を本体の穴から外して、底板を取り外す。

※組み立ての際、底板の表裏に注意してください。



11 扉と引き出しの取り付けと調整

警告



取り外した扉および引き出しを取り付けたら、傾き・がたつき・丁番のゆるみがないことを必ず確認する

扉の取り付けに異常があると、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

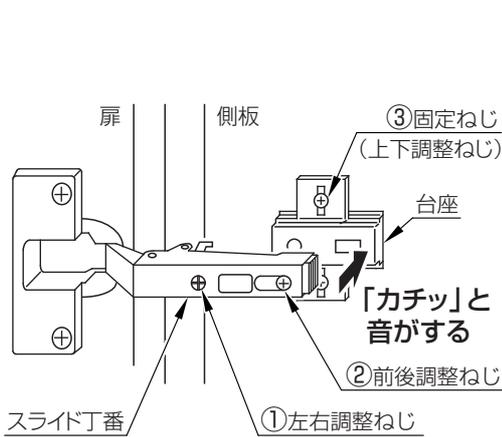
注意



扉と引き出しの調整は電動工具を使用しないで、ハンドドライバーを使用して必ず手回しで行う
破損の原因となり、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

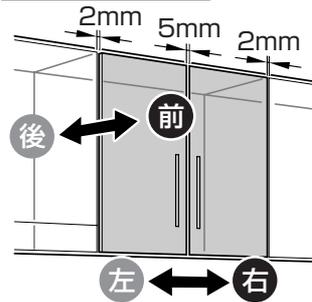
1. 扉の取り付けと調整

丁番を台座に合わせて押し付けてください。



※ねじを締めすぎないようにしてください。
丁番の破損の原因となります。

前後左右の調整



〈左右〉

①の調整ねじを回して調整してください。

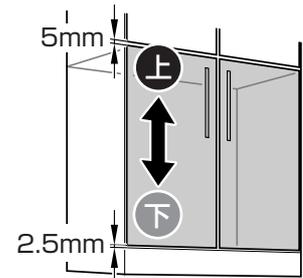
〈前後〉

②の調整ねじを回して調整してください。

上下の調整

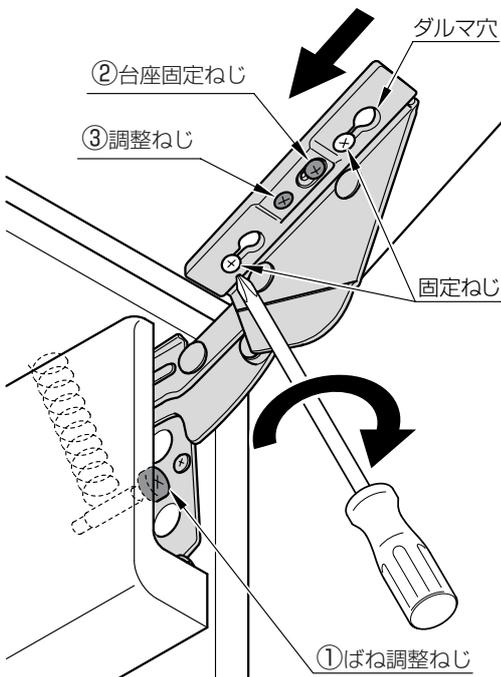
〈上下〉

③の固定ねじをゆるめる。両手で支えながら調整し、調整後はねじを締めてください。

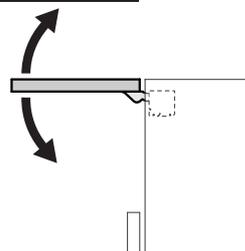


2. はね上げ式扉の取り付けと調整

扉の固定ねじをダルマ穴から通し、下方向へスライドさせ固定する。



ばねの調整



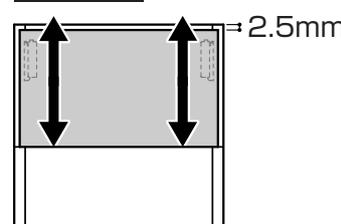
〈扉が下がる時〉

①の調整ねじを右に回して調整してください。

〈扉が上がる時〉

①の調整ねじを左に回して調整してください。

扉の調整



〈上下〉

②の台座固定ねじをゆるめ、天板と扉のチリが2.5mmになるように③の調整ねじで調整してください。

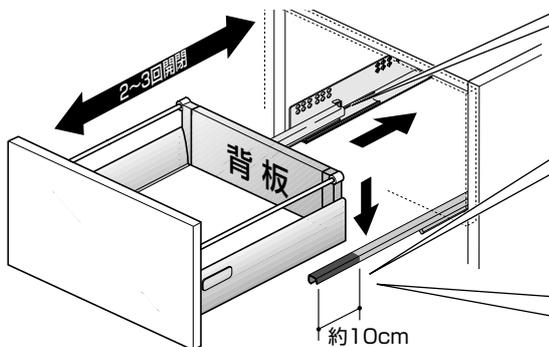
②の台座固定ねじを締めてください。

3.引き出し取り付けと前板の調整

⚠ 注意

! 取付後は必ず引き出しを2~3回最後まで押し込み、引き出しを引き出した状態で扉を下に押ししても引き出しの背板が持ち上がらないことを確認する
 正確に取り付けられていないと、使用中に引き出しが外れてけがをするおそれがあります。

【引き出しの取り付け方法】



1 キャビネットのレールを完全に引き出した状態にする。

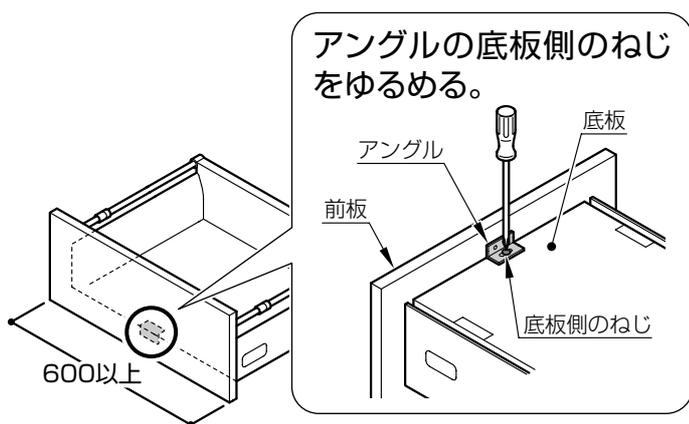
2 レールの先端から約10cmの所に引き出しを重ね合わせる。

3 そのまま奥まで押し込む。

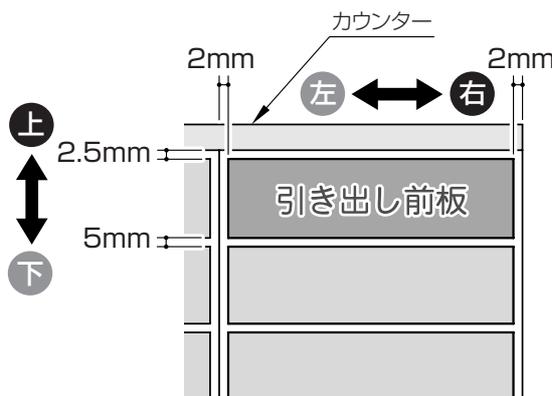
※引き出しがレールに固定されているか、必ず確認してください。

【上下左右調整】

間口600以上の場合は引き出し底板の裏面にアングルがついています。



アングルの底板側のねじをゆるめる。



〈すき間適正值〉

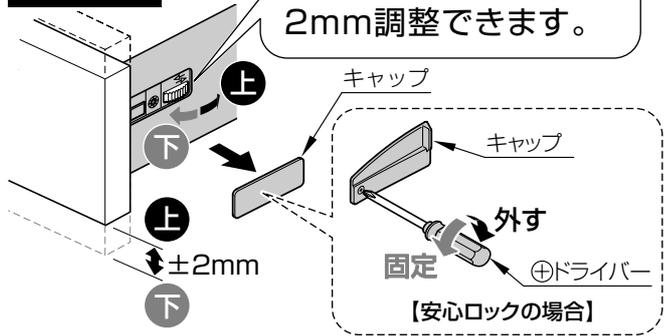
左右のすき間 : 2mm
 扉と扉のすき間 : 5mm
 扉とカウンターのすき間 : 2.5mm

調整後は必ず、ねじを締め付けてください。
 引き出しの扉と底板の間にすき間が発生、また底板のたわみの原因となります。

引き出し側面のキャップを外して、調整してください。
 前板の調整終了後は必ずキャップを戻してください。

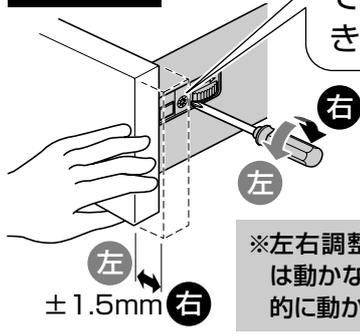
上下調整

両端のダイヤルで±2mm調整できます。



左右調整

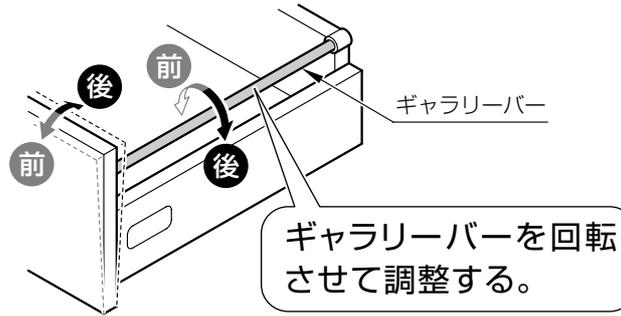
引き出し右側のねじで±1.5mm調整できます。



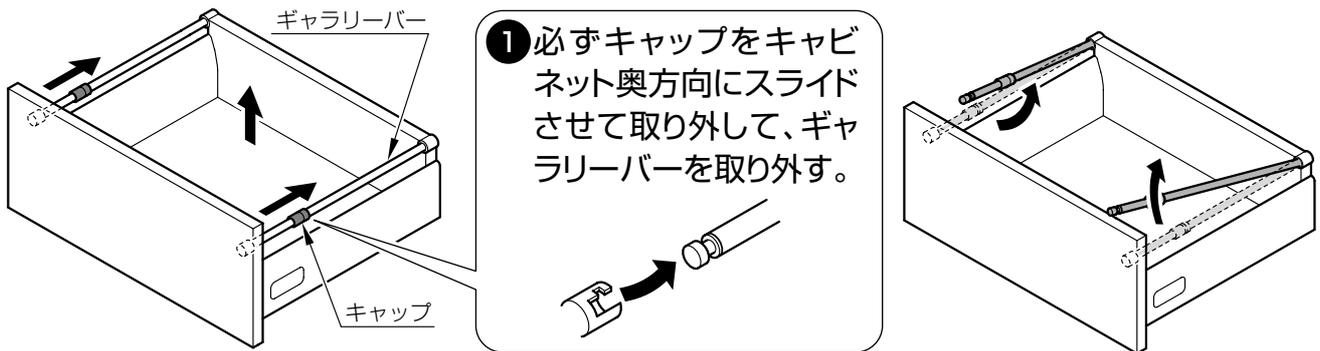
※左右調整はねじを回しただけでは動かないので、前板を手で補助的に動かしてください。

3.引き出し取り付けと前板の調整 (続き)

【前板の角度調整】



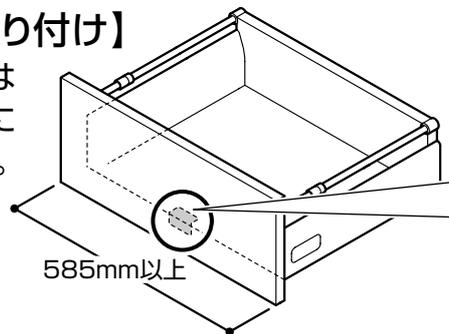
【ギャラリーバーの取り外し・取り付け】



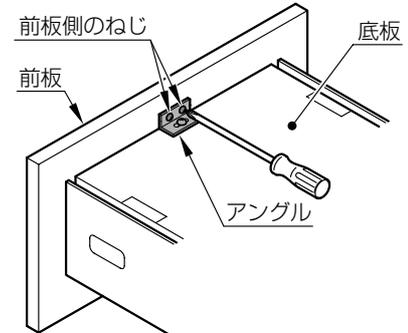
※取り付けは逆の手順で行ってください。

【前板の取り外し・取り付け】

間口600以上の場合は引き出し底板の裏面にアングルがついています。



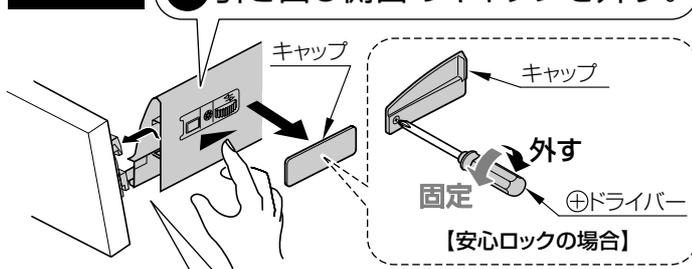
アングルの前板側のねじを外す。



調整後は必ず、ねじを取り付けてください。引き出しの扉と底板の間にすき間が発生、また底板のたわみの原因となります。

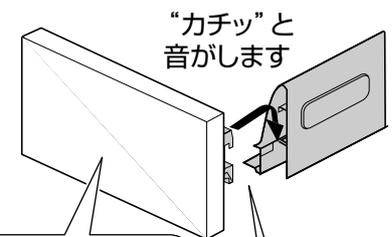
引き出し側面のキャップを外して、調整してください。

取り外し ① 引き出し側面のキャップを外す。



② 両端の青いボタンを押しながら持ち上げると外れます。

取り付け



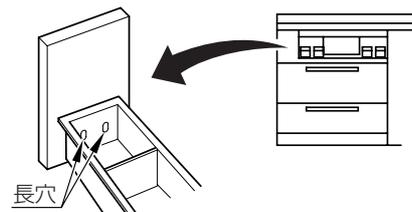
① 取り付けは前板を前面からはめ込む。

② 押しつけながら下に移動させて固定する。

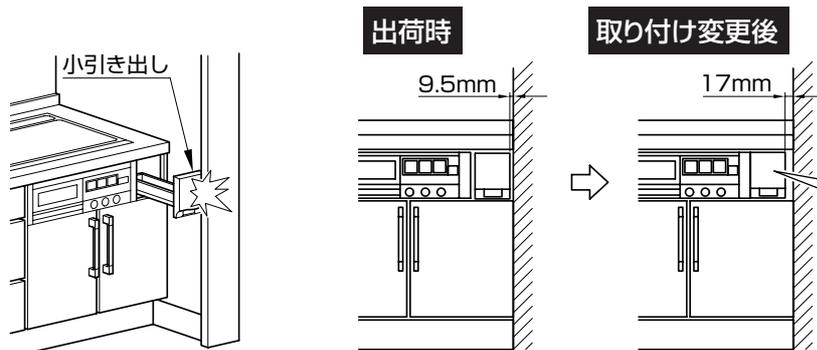
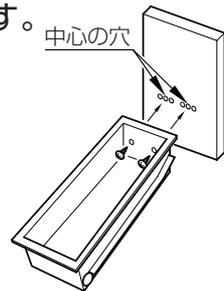
4.コンロ用キャビネットの小引き出し前板の調整

前板を固定しているねじは長穴になっていて、前板の上下調整をする事ができます。ねじをゆるめて調整してください。その後、必ずねじを締め直してください。

開き扉タイプのコンロ用キャビネットを壁際に設置して、ドア枠などの突起物が小引き出しと干渉する場合、小引き出し前板の取り付け位置を変更してください。



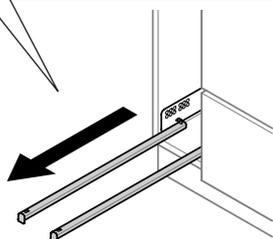
前板を固定しているねじを外し、中心の穴を使用して固定しなおす。中心の穴



5.スパイスボトルラックの取り付けと前板の調整

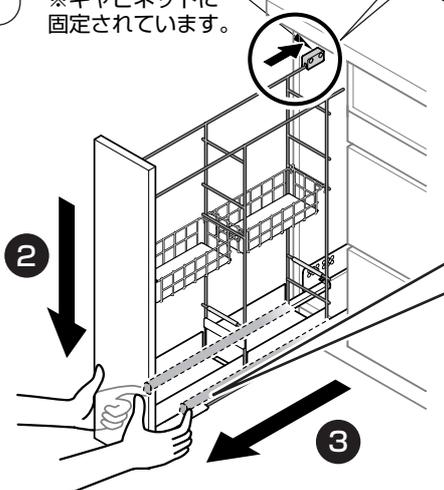
【引き出しの取付方法】

① レールを完全に引き出す。



ブレ止め
※キャビネットに固定されています。

② ブレ止めに通しながら、レールに置く。



④ 取り付けたあとは、必ず2~3回開閉する。

※スムーズに動かか、ぐらつき、(後ろが浮くなど)はないか確認してください。

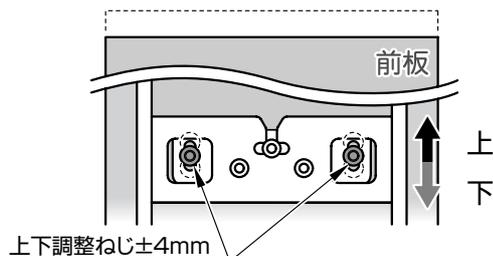
①必ず実施

③ 左右のレールの先端部を扉側へ最後まで確実に引き寄せる。



※引き出しの落下・破損の原因になります。

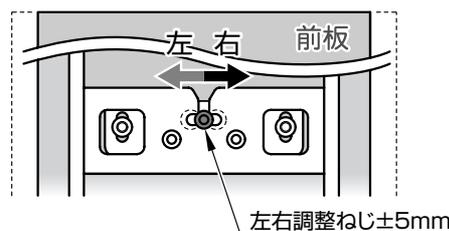
【前板上下調整】



上下調整ねじを

① ゆるめる ② ずらす ③ しめる

【前板左右調整】

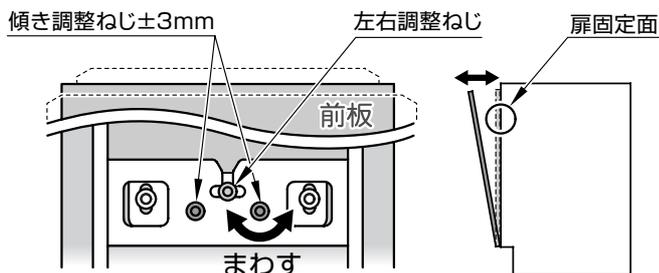


左右調整ねじを

① ゆるめる ② ずらす ③ しめる

5. スライスボトルラックの取り付けと前板の調整 (続き)

【前板傾き調整】

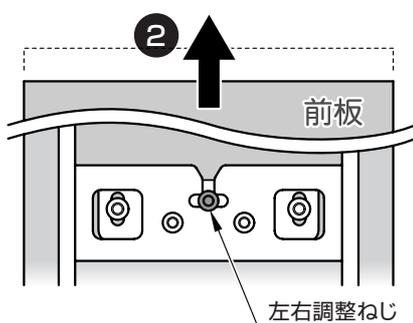


① 左右調整ねじをゆるめる

② 傾き調整ねじを回して、傾きを調整する
※左右均等に調整のこと。

③ 左右調整ねじを締め付ける

【前板の取り外し・取り付け】



① 左右調整ねじをゆるめる

② 前板を持ちあげる

※取り付けは逆の手順で行ってください。調整後は確実に締め付けてください。

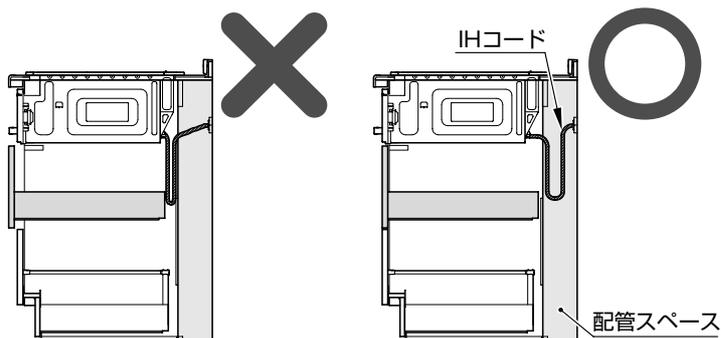
12) 調理機器の取り付け

⚠ 注意

❗ 機器に付属の組立・設置説明書および本体の注意表示を必ず確認し、正しい取り付けを行う
取付方法を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

お願い

IHコードは配管スペース内に収めてください
引き出し背板と干渉し、引き出しが閉まらなくなります。



13 安心ロック(引き出し用)の注意点

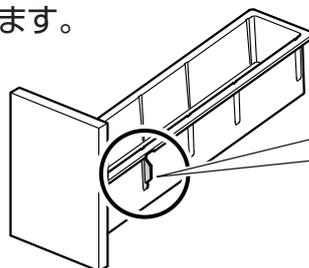
⚠ 注意

❗ 安心ロック付きキャビネットを取り付けの際は、ラッチ受け本体に貼り付けてあるシールを必ずはがすはがし忘れると、地震の際、ロックがかからず、思わぬ事故となるおそれがあります。

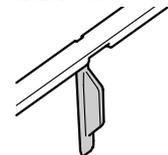
【コンロ横小引き出し】

ラッチ本体は右のレールの上側に1カ所だけあります。

シールをはがす。



引き出し側ラッチ受け



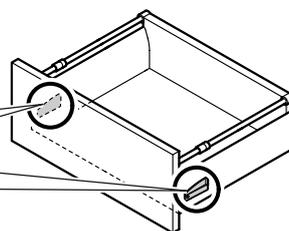
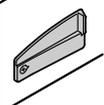
【引き出し】

ラッチ本体は左右のレールの上側に各1カ所あります。

シールをはがす。



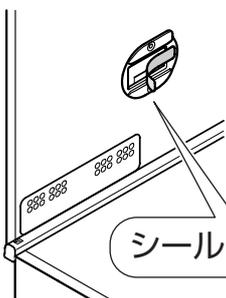
引き出し側ラッチ受け



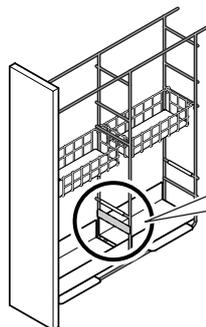
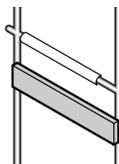
【スパイスボトルラック】

ラッチ本体は左右のレールの上側に各1カ所あります。

シールをはがす。



引き出し側ラッチ受け



14 水栓の取り付け

⚠ 注意

❗ 水栓に付属の組立・設置説明書および本体の注意表示を必ず確認し、正しい取り付けを行う取付方法を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

15 照明の取り付け

⚠ 注意

❗ 機器に付属の組立・設置説明書および本体の注意表示を必ず確認し、正しい取り付けを行う取付方法を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

16 周辺商品の取り付け

⚠ 注意

- ❗ おのおののユニットに付属の組立・設置説明書および本体の注意表示を必ず確認し、正しい取り付けを行う
取付方法を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

17 オプションの取り付け

⚠ 注意

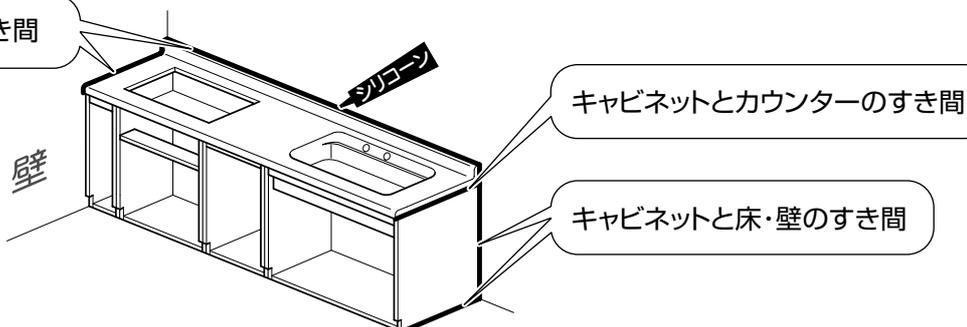
- ❗ オプションに付属の組立・設置説明書および本体の注意表示を必ず確認し、正しい取り付けを行う
取付方法を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

18 コーキング処理

- カウンターおよびキャビネットなどとキッチンパネル、壁面、エンドパネル、床面などのすき間をシリコンシーラ剤でシールしてください。

※ 壁面がキッチン取付後仕上げの場合は、材工建築工事となります。

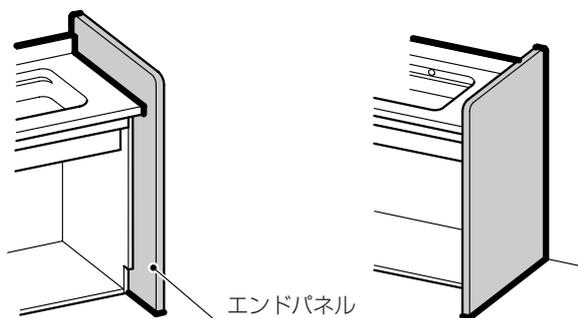
カウンターと壁のすき間



キャビネットとカウンターのすき間

キャビネットと床・壁のすき間

〈エンドパネルの付く場合〉



⚠ 注意

上記で指定した箇所は必ずシリコンシーラ剤でシールする
シールが不完全な場合、水こぼれによりキッチン部材・床・壁の損傷や劣化の原因になります。

- ❗ 取り付け・仕上げに使われる、溶剤・接着剤・洗剤・その他薬品類については、容器などに記載の注意表示に従って、正しく使う
誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、キッチン部材・床・壁の損傷や劣化の原因になります。

19 清掃・検査・養生

【清掃】

キッチン取付完了後、清掃を行ってください。

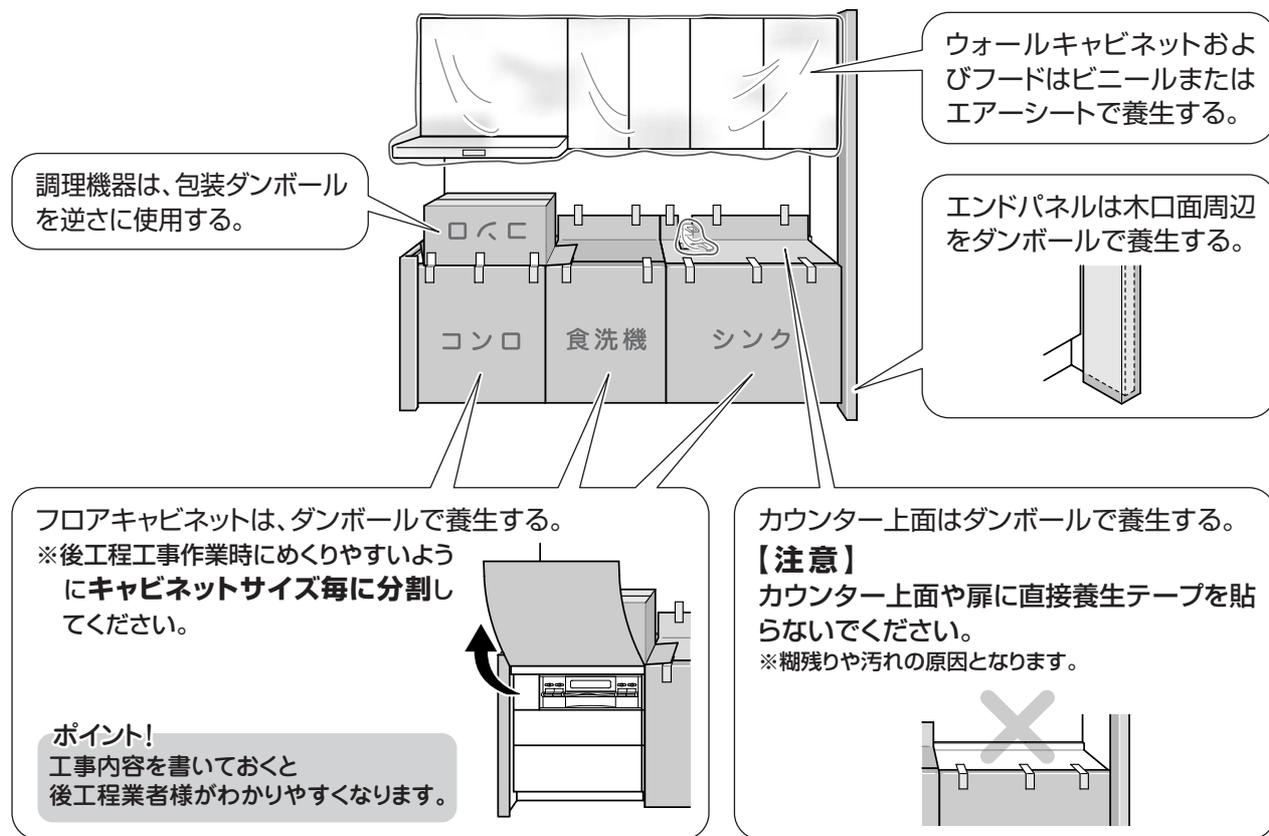
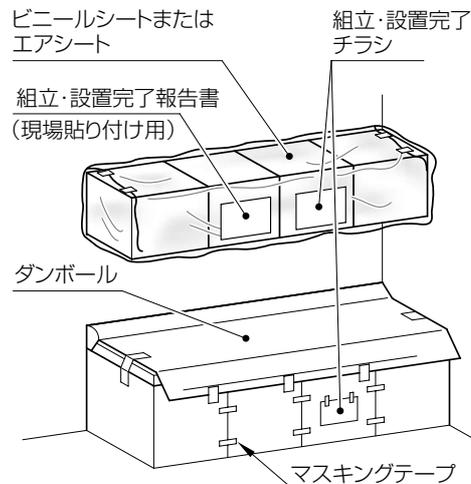
【検査】

外観・機能・傷などのチェックを行い、シンクキャビネット付属の「組立・設置完了報告書」と「メンテナンスラベル」に組立・設置業者名を記入してください。

【養生（下記養生ポイント参照）】

- キッチン取付後の設備、建築工事などで汚されたり・傷つけられたりしないように厳重に養生しておいてください。
- カウンター・シンク面の養生は特に厳重に行ってください。
- 養生材は、包装に使ったダンボールを使うか、現場手配のエアシートなどを使うなどして保護してください。
- 後仕事（配管工事など）をする方のために組立・設置説明書を養生の上からマスキングテープで貼っておいてください。

養生ポイント キッチン取付完了後はクリーニングをしたあと、下記要領にて養生をしてください。



必ず検査を実施してください。

「組立・設置完了報告書」の現場貼り付け用紙(4枚目)を養生の上から貼ってください。

組立・設置業者様控え用紙(2枚目)は持ち帰り保管してください。発注元提出用紙(3枚目)は発注元へ提出してください。

組立・設置業者様へ

各種取扱説明書は必ずシンクキャビネット内にまとめてお引き渡し
ください。